

2020

# ブライダル科 シラバス



学校法人京都中央学院

YIC京都ビューティ専門学校

## シラバスとは

シラバスとは講義概要であり授業全体の計画書のことです。授業の目標・内容・参考図書・成績評価の方法などが記され、皆さんが授業内や授業外で学修を行うための指針を示すものです。

教員は、この指針に従って授業を行うこととなります。したがってシラバスは授業計画を学生と教員との間で共有する、「契約書」に近い位置づけのものです。シラバスに記載された目標を達成するために、教員は授業を通して学生である皆さんに知識と技術を習得させる義務を負います。逆に皆さんは授業に出席する義務を負うこととなります。

また広い意味では、本校が地域社会に対して本校の教育の質を担保するものでもあります。

実際に授業が行われるにあたって、学生や教員があらかじめ準備したり、従うべき事項等を共有する文書となります。授業で行われる内容があらかじめ記載されていますので、学生は授業に臨む際に前もって準備を行うことができますし、記載されている評価方法に向けての学修などを行うこともできます。

シラバスを作成する過程で、教員が自らの行う授業の内容、評価方法などの具体的構造を見直すことができ、自分の授業を見直す良い機会となります。

皆さんは、このシラバスを活用して、悔いのない学生生活を送っていただくようお願いします。

## 2020年度 ブライダル科 教育課程

区分	履修科目名	1年		2年		合計			
		単位	時間	単位	時間	単位	時間		
必修科目	ブライダル分野	講義	ブライダル概論	1	30			1	30
			現代ホテル理論	1	30			1	30
			ホテルビジネス実務	1	30			1	30
			ブライダルコスチュームⅠ	1	30			1	30
			ブライダルコスチュームⅡ	1	30			1	30
			ブライダルコーディネート技能検定Ⅰ	1	30			1	30
			ブライダルコーディネート技能検定Ⅱ	1	30			1	30
			全米ブライダルプランナー検定Ⅰ	1	30			1	30
			全米ブライダルプランナー検定Ⅱ	1	30			1	30
		実習	ブライダルプロデュースⅠ	2	60			2	60
			ブライダルプロデュースⅡ			2	60	2	60
			セレモニープロデュースⅠ	1	30			1	30
			セレモニープロデュースⅡ			1	30	1	30
			レストランサービス			2	60	2	60
			フラワーコーディネートⅠ	1	30			1	30
			フラワーコーディネートⅡ			1	30	1	30
			ブライダルプランニング演習			1	30	1	30
			ブライダル広告研究	1	30			1	30
	ブライダル映像基礎		1	30			1	30	
	イラスト・デッサン				1	30	1	30	
	インターンシップⅠ		2	60			2	60	
	インターンシップⅡ	2	60			2	60		
	インターンシップⅢ	2	60			2	60		
	ビジネス分野	講義	ビジネス基礎Ⅰ	1	30			1	30
			ビジネス基礎Ⅱ	1	30			1	30
			硬筆書写Ⅰ	1	30			1	30
			硬筆書写Ⅱ	1	30			1	30
			サービス接遇Ⅰ	1	30			1	30
			サービス接遇Ⅱ	1	30			1	30
			マナープロトコル			1	30	1	30
			プレゼンテーション・ディベート学Ⅰ	1	30			1	30
			プレゼンテーション・ディベート学Ⅱ			1	30	1	30
			セールスプロモーション			1	30	1	30
ビジネスマネジメント					1	30	1	30	
ビジネス英語基礎			1	30			1	30	
ビジネス英語応用					1	30	1	30	
ホスピタリティマインドコミュニケーション					1	30	1	30	
実習		基本IT技術Ⅰ	2	60			2	60	
		基本IT技術Ⅱ	1	30			1	30	
トータルビューティ分野		講義	色彩学	1	30			1	30
		実習	ブライダルヘアメイク	1	30			1	30
	着付け・作法		2	60			2	60	
	メイクアップ基礎		2	60			2	60	
	ネイル基礎				2	60	2	60	
	ヘアアレンジ		1	30			1	30	
	ブライダルアロマ				1	30	1	30	
キャリアデザイン分野	講義	ブライダル企業研究	1	30			1	30	
		キャリアデザイン	1	30			1	30	
	実習	メイクセラピー	2	60			2	60	
総計(必須+選択)		43	1,290	17	510	60	1,800		

※卒業の要件： 必須科目 60単位 (1800) の履修

※単位： 90分 x 15週の 座学 (授業) または 実習 をもって1単位とする。ただし校外実習などこれによりがたい場合は別途決定する

※科目履修 (単位) 認定の要件： 80%以上の出席 および 期末試験 60点以上

科目名	ブライダル概論		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格、検定等)	現在の日本における結婚の定義、歴史や文化を知り、ブライダルとは何か？どんな意味・意義があるのか？を学ぶ。また、プランナーとしてお客様と対応に当たり必要なブライダルの基礎知識や昨今のブライダル業界の傾向や地域性による違い等を学び、対応力を身につける。							
授業の一般目標	社会人としての一般常識として冠婚葬祭の知識を身につけ、人生の通過儀礼を滞りなく実行でき、業界で働くための知識を身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 冠婚葬祭とは何かについて説明できる。 2. ブライダル業界の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ブライダル業界に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で、接客サービス業に携わるサービスマナーを身に付ける事ができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	ガイダンス	この授業で学ぶ内容について						
第2回	結婚の定義について	BIAテキストより：法的意義・婚姻の要件・結婚状況について						
第3回	日本の結婚式の歴史について	BIAテキストより：日本の結婚式の歴史・宗教と結婚式・風習やいわれ（六輝）						
第4回	挙式の種類	挙式の様々なスタイル						
第5回	結婚式の用語	六輝、忌み言葉、通常使用される業界での用語						
第6回	ブライダルのエリア特性	BIAテキストより：日本各地域ごとの特性について学ぶ						
第7回	立ち居振る舞いについて	必要なスキルとビジネスシチュエーションでの対応						
第8回	京都・滋賀エリアの婚事情	京・滋ならではの婚スタイル～結納・顔合わせ・和婚～						
第9回	京都・滋賀エリアの婚事情	京・滋ならではの婚スタイル～結納・顔合わせ・和婚～						
第10回	LGBTQウェディング①	セクシャルマイノリティの基礎知識と同性婚の現状						
第11回	LGBTQウェディング②	セクシャルマイノリティの基礎知識と同性婚の現状						
第12回	マタニティウェディング①	女性の心身のしくみ、マタニティブライダル商品など						
第13回	マタニティウェディング②	女性の心身のしくみ、マタニティブライダル商品など						
第14回	ブライダルをとりまく、様々なビジネス	付帯ビジネス、パートナービジネスを知る						
第15回	期末試験	1から14までの回で学んだ内容から						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	杉山 美帆子		実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/sugiyama/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/sugiyama/</a>				

科目名	現代ホテル理論			単位数	1	科目コード		
授業形態	講義			対象学生	1年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ホテルをビジネスモデルとして、運営・経営の仕組みや活動を学びます。講義では、実際のホテルの活動を中心にホテルの社会的役割や、ホテルビジネスを構成する経営の仕組みを、学ぶ。							
授業の一般目標	ホテルのマネジメントに必要な、ホテルの経営形態や、危機管理、マーケティング、メンテナンス、施設管理、人材管理などの知識の習得。ホテル・旅館・レストランの起業、経営のための不動産事業の側面を学び、所有・運営・経営の分離など、外資系ホテルの経営と日経ホテルの経営を比較・分析し、これからのホテル経営の在り方を学ぶ。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	ホテルについて説明する事が出来る							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	ホテル以外の業界もマーケティングする事で他業界とホテル業界の違いを理解する事が出来る							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事が出来る							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でホテルについて主体的に考える事が出来る							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題			授 業 内 容			備 考	
第1回	ガイダンス			オープニング、授業計画の説明、ホテルについてのディスカッション				
第2回	ホテルの起源			ホテルの語源、定義などを学ぶ				
第3回	ホテルの分類			ホテルを経営形態、資本形態、機能形態など、それぞれに分類できる事を学ぶ。				
第4回	ホテル発達の歴史			宿泊施設の始まり、欧米のホテル、外資系高級ホテル、日本のホテルの歴史を知る				
第5回	ホテル産業の特徴			社会的役割やホテル商品の特殊性について学ぶ				
第6回	ホテルスタッフに求められる能力について			身だしなみや動作のみならず、現場で働く上で必要な知識や、求められる資質について理解する				
第7回	代表的なセクションについて			ホテルを構成する各セクションの名称や役割の基礎を学ぶ				
第8回	ホテルの社会的責任について			防災、アレルギーや食中毒への対応、高齢の方などへの配慮の大切さを理解する。				
第9回	これからのホテル産業について			ホテルに求められる事は何かをディスカッション				
第10回	総復習小テスト			2回～9回の内容の総復習の小テストと解説				
第11回	理想のホテルを作ろう(事業計画)			自分達が作ってみたいホテルの理念の決める				
第12回	理想のホテルを作ろう(事業計画)			理念に基づいた、事業形態を考える				
第13回	理想のホテルを作ろう(事業計画)			販売商品や特徴、外観デザイン等、より具体的にイメージする				
第14回	理想のホテルを作ろう(事業計画)			プレゼンシートの作成を行う				
第15回	期末試験			事業計画の発表				
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点(小テスト・発表レポート)70%、授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎	○			30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○				10	B(2):70点以上
授業態度			○	○			20	C(1):60点以上
発表・作品	◎	○	◎	○			40	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					失格条件
担当教員	喜多村 公美			実務経験紹介	<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/</a>			

2020年度 シラバス

科目名	ホテルビジネス実務		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期			
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ホテルの各セクションごとの業務内容、用語などの基礎知識を習得し、ホテルでのお客様への具体的な対応例からホスピタリティの精神を学ぶ。							
授業の一般目標	ホテルならではのホスピタリティの精神を、プライダグプランナーとしての接客に活かす。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	ホテルについて説明する事が出来る							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	ホテル業界ならではのホスピタリティをプライダグのお客様にも応用する事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でホテルについて主体的に考える事ができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	ホテルの各セクションごとの業務内容、ホテル用語を習得している。							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	この授業で学ぶ内容について。現代ホテル理論復習						
第2回	宿泊部門の業務	部屋の構造によるタイプの分類・用語を知る						
第3回		宿泊部門における職種とその役割からゲスト対応を学ぶ						
第4回		フィットネス、スパなど宿泊部門ならではのセクションや役割を知る 婚礼部門との関わりについて知る。				確認小テスト		
第5回	料飲部門の業務	ホテルレストランの種類や、ゲスト対応を学ぶ。						
第6回		料飲部ならではの職種・集客人数の規模について知る 婚礼部門との関わりについて知る						
第7回	宴会部門の業務	宴会部門の業務内容、集客人数の規模について理解する						
第8回		宴会部門の職種、それぞれの役割について学ぶ						
第9回	調理部門の業務	調理部ならではの職種やそれぞれの役割を理解する。						
第10回		婚礼料理について(特別メニュー作成など、ゲストニーズへの対応を学ぶ)				確認小テスト		
第11回	婚礼部門のホテルにおける役割	ホテルにおける婚礼部門の重要性を知る。						
第12回		各セクションとの関わりについて学ぶ						
第13回	総復習	宿泊部門・料飲部門について						
第14回		婚礼部門・宴会、調理部門について						
第15回	期末テスト	1回～14回の内容からテスト実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			○		50	秀 (S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎		○		20	優 (A):89点～80点
宿題授業外レポート			○	◎			10	良 (B):79点～70点
授業態度		◎	○				20	可 (D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可 (E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	喜多村 公美			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/</a>			

科目名	ブライダルコスチュームⅠ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	人生で最も華やかで輝かしい儀式「結婚式」「披露宴」のための婚礼衣裳。花嫁がその運命の1着に出会われるまでのサポートをするのがコスチュームアドバイザーやスタイリストです。本授業では、衣裳の歴史・ドレスコード・シルエットの名称とその似合う体型を学び、ドレスコードなどの扱い方を習得します。洋装(ウェディングドレスやカラードレス)・アクセサリー・ベールなどの小物合わせ、和装についてトータルで学習し、ブライダルの現場で即戦力とされることを目指します。							
授業の一般目標	①衣裳・小物の種類を理解する。 ②ドレスの着せ方を学び、フィッティングができる。 ③補正の方法やドレスメンテナンスや、扱い方を知る。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	衣裳の歴史、アイテム、シルエット、小物の名称を理解できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	ドレスを美しく着せるためのパニエやファンデーションを使用する事が理解できる。シルエットに添った小物を選らぶ事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	近年の流行に関心を持ち、新郎新婦の衣裳小物、スタイリングを意識できる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	ドレスフィッティングの出来栄が美しいか否かの判断ができる。適切な取り扱いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	お客様へ行うように丁寧に美しくドレス着付を行える。							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	ガイダンス・コスチュームの概要	ブライダルコスチュームとは、コスチュームアドバイザーとは						
第2回	ウェディングドレスの基礎①	ドレス関連用語、デザインの特徴、アクセサリー、小物の種類など						
第3回	ウェディングドレスの基礎②	ドレスのマテリアル(布地・素材)、サイズ展開、採寸、小物合わせ						
第4回	ウェディングドレスの基礎③	ドレス・ベール・パニエの扱い方やディスプレイの仕方						
第5回	メンズコーディネート	ゲストスピーカーをお招きして 新郎衣裳の基礎知識、コーディネート例				レポート		
第6回	婚礼衣裳のトレンド	ゲストスピーカーをお招きして 近年の婚礼衣裳における傾向を知る				レポート		
第7回	フィッティング① 基礎編	ドレスの着せ方、選び方、ドレス下着の重要性など				演習/トルソー使用		
第8回	フィッティング② 応用編	"、お客様のサイズに合わないドレスの着せ方				演習/トルソー使用		
第9回	補正のテクニック	フィッティングの際に必要な補正方法を学ぶ				トルソー使用		
第10回	花嫁スタイリングの実践	ドレスショップでの接客や提案の仕方、ドレス着付の実践				演習		
第11回	コーディネートルールプレイング	ドレスショップでの接客を実践 試着をコスチュームアドバイザー役・花嫁役でロールプレイング				演習		
第12回	和装コーディネート①	和装婚礼の衣裳に関する基礎知識・コーディネートの仕方						
第13回	和装コーディネート②	列席者衣裳の種類やしきたり、マナーを学ぶ						
第14回	晴れの日の所作レッスン	新郎新婦の立ち居振る舞い、新郎によるエスコート方法など				演習		
第15回	前期試験	前期の振り返り						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	○		○		50%	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	○				10	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		○	○		○		10	B(2):70点以上
授業態度			○	○			20%	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習	○	○	○		○		10	
出席			○					
担当教員	北 昌幸(きた まさこ)			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kita/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kita/</a>			

科目名	ブライダルコスチュームⅡ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	主にドレススタイリスト検定取得を目指した対策授業を行う。また、前期で習得した技術・接客を活かしてお客様のドレス選びに必要な事前準備、ヒアリング内容、小物類の取り扱いなど、より実践的な対応を学ぶ。							
授業の一般目標	①ドレススタイリスト検定取得を目指す。 ②実践的なお衣裳担当の接客を学ぶ。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	衣裳の歴史、アイテム、シルエット、小物の名称を理解できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	ドレスを美しく着せるためのパニエやファンデーションを使用する事が理解できる。シルエットに添った小物を選らぶ事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	近年の流行に関心を持ち、新郎新婦の衣裳小物、スタイリングを意識できる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	ドレスフィッティングの出来栄が美しいか否かの判断ができる。適切な取り扱いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	お客様へ行うように丁寧に美しくドレス着付を行える。ドレススタイリスト検定を取得できる。							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	衣裳店のビジネス市場	衣裳店のビジネス市場、お客様の動向を知る						
第2回	ドレス構造とデザイン	ドレス構造とデザイン、ドレスに合わせる小物						
第3回	サイズ展開について	ドレスのサイズ展開と採寸、補正、体験によりスタイリング効果						
第4回	男性の洋装	男性洋装とサイズ展開。実践にむけてのタキシード提案方法を学ぶ						
第5回	和装について	新郎新婦の和装衣裳、列席者衣裳について						
第6回	ドレスのシルエットについて	ドレスシルエット、素材、スタイリングなどの復習。検定対策						
第7回	検定対策中間テスト	ドレススタイリスト検定の過去問より、中間テストを行う。						
第8回	ドレスの提案方法について	ドレス提案に関する再復習、検定の過去問題より対策						
第9回	論述問題について	検定で出題される、論述問題の傾向を学ぶ						
第10回	ブライダルパーティの衣裳	欧米におけるブライダルパーティについて、衣裳店実務について学ぶ。						
第11回	ドレススタイリスト検定対策	総復習を行う。						
第12回	ドレススタイリスト検定試験実施	ドレススタイリスト検定試験実施						
第13回	ドレススタイリスト検定対策	ドレススタイリスト検定復習と答合わせ						
第14回	期末テスト対策	期末テスト範囲に関する復習						
第15回	期末テスト	期末テスト、会場に合うドレスと小物のプレゼン						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	◎				50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	○				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート			○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○		◎		10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	北 昌幸(きた まさこ)			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kita/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kita/</a>			



2020年度 シラバス

科目名	ブライダルコーディネーター技能検定 I		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	BIA検定対策授業。ブライダルコーディネーター検定3級取得の対策を通し、ブライダル業界へ従事する為の基礎知識を学ぶ。							
授業の一般目標	日本のブライダル業界に必要な基礎知識、及びブライダルコーディネーター業務について学ぶ							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	日本のブライダルの歴史、ブライダルビジネスの現状が把握できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	過去のBIA検定問題に出題されているブライダルの基礎知識を間違いなく選択することができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ブライダルに関する関心を広げ、各ブライダル業種や関連業種について調べ、説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	前期で学んだ範囲のBIA検定過去問題を解くことができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	検定の趣旨・特徴・受験の手続きなど案内						
第2回	Lesson 2 ブライダルビジネス	ブライダルビジネスと呼ばれる業種を学ぶ・市場の推移を知る						
第3回	Lesson 2 ブライダル業種	結婚式会場・披露宴会場・その他ブライダルビジネスについて						
第4回	Lesson 2 ブライダル業界の1年	繁忙期・閑散期・集客のシステムについて						
第5回	復習テスト	BIA検定過去問も含めた復習小テストの実施及び解説						
第6回	Lesson3 ブライダルの基礎	見合い・結納について・顔合わせについて						
第7回	Lesson3 ブライダルの基礎	新郎新婦の結婚までのスケジュール。検討必要事項及び時期を学ぶ。						
第8回	Lesson3 ブライダルの基礎	様々な挙式①：キリスト教式・シビルマリッジ						
第9回	Lesson3 ブライダルの基礎	様々な挙式①：神前式・仏前式						
第10回	復習テスト	BIA検定過去問も含めた復習小テストの実施及び解説						
第11回	Lesson3 ブライダルの基礎	披露宴～二次会、海外ウェディング、新婚旅行について						
第12回	Lesson 4 コーディネーター業務	ブライダルセールスの特徴（商品特徴）、セールスと施行、新規から成約までの流れを学ぶ						
第13回	Lesson1～4までの総復習	ブライダル概論及びBIA検定の授業範囲の総復習						
第14回	Lesson1～4までの総復習	ブライダル概論及びBIA検定の授業範囲の総復習						
第15回	期末テスト	1回～14回の内容で期末テスト実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	○		○		50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎		○		20	A(3):80点以上
宿題授業外レポート			○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			◎	○			20	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	喜多村 公美			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/</a>			

科目名	ブライダルコーディネーター技能検定Ⅱ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	BIA検定対策授業。ブライダルコーディネーター検定3級取得の対策を通し、ブライダル業界へ従事する為の基礎知識を学ぶ。							
授業の一般目標	日本のブライダル業界に必要な基礎知識、及びブライダルコーディネーター業務について学ぶ							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	ブライダルコーディネーターの業務内容を説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	BIA検定問題の基礎知識を間違いなく選択することができ、得た知識を他の実技授業で活かす事が出来る。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ブライダルに関する関心を広げ、各ブライダル業種や関連業種について調べ、説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダルについて主体的に考える事ができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	BIA検定3級を取得できる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	検定試験に関する詳細説明・前期復習・後期授業範囲について学習する						
第2回	Lesson5 打合せ業務	成約から披露宴本番までの打合せの流れについて学習する						
第3回	Lesson6・Lesson8 ブライダルアイテムの選定・当日業務	会場コーディネート・テーブルプラン・テーブルセッティングについて理解する						
第4回	Lesson6・Lesson7 ブライダルアイテムの選択・手配業務	ペーパーアイテム(招待状・席札など)について発送時期や基本ルールを学習する						
第5回	復習テスト	BIA検定過去問も含めた復習テストの実施及び解説						
第6回	Lesson6 ブライダルアイテムの選択	婚礼料理、飲み物、ウェディングケーキについて学習する						
第7回	Lesson6・Lesson8 ブライダルアイテムの選択・当日業務	披露宴の進行、司会や音響の役割、各種演出について理解する。						
第8回	Lesson6・Lesson8 ブライダルアイテムの選択・当日業務	披露宴の進行、司会や音響の役割、各種演出について理解する。						
第9回	復習テスト	BIA検定過去問も含めた復習テストの実施及び解説						
第10回	Lesson7 手配業務	引出物・引菓子・写真撮影や映像素材の種類などについて学習する						
第11回	Lesson7 手配業務	引出物・引菓子・写真撮影や映像素材の種類などについて学習する						
第12回	BIA検定対策集中授業	過去問題を繰り返し行い、解説。問題対策を行う。						
第13回	BIA検定対策集中授業	過去問題を繰り返し行い、解説。問題対策を行う。						
第14回	総復習	コーディネーター業務の総復習を行い、期末テスト対策を実施。						
第15回	期末テスト	前後期授業で学んだ内容で実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	○		○		50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎		○		20	A(3):80点以上
宿題授業外レポート			○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			◎	○			20	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	喜多村 公美		実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/</a>				

科目名	全米ブライダルプランナー検定 I			単位数	1	科目コード		
授業形態	講義			対象学生	1年次	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	主に全米ブライダルプランナー検定2級取得を目的とした対策授業。 この授業で使用する教材から日本のブライダル業界の変遷も理解する。また、現在行われている日本のブライダルでの進行や演出の多くは、欧米のブライダルの流れを受けている事を理解し、それぞれの演出や進行が持つ歴史や意味についての知識を広げる。							
授業の一般目標	ブライダル業界で必要とされる一般的な知識を習得し、9月に実施される全米ブライダルプランナー検定の2級合格を目指す。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダルの歴史、欧米と日本の違いについて説明できる。 2. ブライダル業界の各領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた進行や演出を参考に、模擬挙式やリアルウェディングの進行を考える事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	欧米で行われている演出や進行を実践に活かす事ができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	全米ブライダルプランナー検定2級を取得できる。							
授業計画(全体)	基本的な知識を修得し応用に発展する							
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	オリエンテーション	検定試験概要説明、授業の進め方について説明。 アメリカンウェディングとは宗教・人種などの特徴について						
第2回	欧米編	第4章本番 (聖職者・ブライダルパーティ、リハーサルウェディングにつ						
第3回		3つの宗教について 第5章 本番レセプションについて						
第4回		第7章 宗教ウェディングについて 基本的な考え方としきたり						
第5回		宗教的な挙式 プロテスタント・ローマカトリック・ユダヤ・非宗教						
第6回		英語での名称を覚える。ディストネーションウェディングやダンス・食事について・総復習を行う						
第7回	日本編	日本のブライダルの変遷を学ぶ						
第8回		ブライダルに関わる日本のビジネスについて						
第9回		六輝・熨斗・結納など、日本特有のしきたりについての総復習						
第10回	総まとめ	欧米ならではの特徴を総復習(ブライダルパーティ・宗教挙式など)						
第11回		日本のブライダルビジネスについて(ゼクシイトrend調査の動向を知る。)						
第12回	直前集中授業	過去の問題から傾向と対策を図る						
第13回								
第14回	直前対策授業	ピンスポットで重点的に復習し検定試験に備える						
第15回	期末テスト実施	欧米と日本のテキストより出題						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			○		50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	喜多村 公美			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/</a>			

科目名	全米ブライダルプランナー検定Ⅱ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	後期	教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	主に全米ブライダルプランナー検定1級取得を目的とした対策授業。 前期に学習した内容を復習し、1級の範囲となるテキスト後半の対策及び、プランナーになった場合を想定した論述形式の問題への対策を行う。							
授業の一般目標	ブライダルプランナーとしての対応力を学び、3月実施の全米ブライダルプランナー検定1級取得を目指す。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダルの歴史、欧米と日本の違いについて説明できる。 2. ブライダル業界の各領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた進捗や演出を参考に、さまざまなパターンのゲストへの提案を考案できる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	欧米で行われている演出や進捗を実践に活かす事ができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	全米ブライダルプランナー検定1級を取得できる。論文でプランナーを想定したゲストへの提案ができる。							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	検定試験概要説明、授業の進め方について説明。						
第2回	日本版①	1年時に学習した内容の日本版の総復習を行う						
第3回	日本版②	1年時に学習した内容の日本版の総復習を行う						
第4回	日本版③	1年時に学習した内容の日本版の総復習を行う						
第5回	欧米編①	欧米版テキスト7章～12章を過去問題に添って学ぶ						
第6回	欧米編②	欧米版テキスト7章～12章を過去問題に添って学ぶ						
第7回	欧米編③	1年時に学習した内容の欧米版の総復習を行う						
第8回	欧米編④	1年時に学習した内容の欧米版の総復習を行う						
第9回	記述対策授業	記述問題に対して。いくつかのパターンを学び、プランナーとしての提案を論文にする						
第10回	記述対策授業	記述問題に対して。いくつかのパターンを学び、プランナーとしての提案を論文にする						
第11回	総まとめ	欧米ならではの特徴を総復習(ブライダルパーティ・宗教挙式など)						
第12回		日本のブライダルビジネスについて						
第13回	検定直前対策授業	全米ブライダルプランナー検定1級試験 直前対策授業						
第14回								
第15回	期末テスト実施							
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			○		50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	喜多村 公美		実務経験紹介	<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/</a>				

2020年度 シラバス

科目名	ブライダルプロデュースⅠ		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	通期		
区分	必修		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	学内でリアルウェディング(本物の結婚式)を行い、現場の緊張感やチームワークを学ぶ。 また、ブライダルに携わる業務全てを学生時代から経験する事で、プランナーとして通用する人となる事を旨とする							
授業の一般目標	本物の結婚式と披露宴の打合せから施行までの基本対応を学び、学生達により実施する							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	挙式や披露宴の進行やあらゆる演出について説明が出来る							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	準備及び本番の時間管理を行いながら、オリジナルの披露宴と挙式を実行する事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	授業で学んだ知識を積極的に取り入れた進行を行える							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	プロのプランナーと同等のマナーで参加者や他の学生に対応する事ができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	司会、音響、衣裳などそれぞれ与えられた役割を円滑にこなす事ができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	リアルウェディング	概要説明・役割分担・完成までの準備スケジュールの確定				各担当ごとに、準備・練習を行い 都度情報の共有を行う		
第2回	リアルウェディング(準備編)	テーマについて(全体)、招待状・席札・席次等のデザインと作成						
第3回	リアルウェディング(準備編)	ドレス提案と着、ヘアメイク提案と施術、ブーケ、ヘアード提案と作成						
第4回	リアルウェディング(準備編)	進行内容確定(全体)、進行に添った司会台本の作成と練習、音響照明、カメラの練習と準備						
第5回	リアルウェディング(準備編)	会場レイアウト及び装飾の確定、装飾作成、席次表作成						
第6回	リアルウェディング(準備編)	打合せ内容の共有、当日スケジュール確定、備品類準備、当日サービス配置確定など						
第7回	リアルウェディング(打合せ編)	ゲストとの打合せ実践を行う(複数回実施予定)				レポート提出		
第8回	リアルウェディング(リハーサル編)	各パートごとの練習や準備を集約し、繰り返しリハーサルを行い情報共有、内容改善を繰り返す						
第9回	リアルウェディング(リハーサル編)	各パートごとの練習や準備を一同に集め、繰り返しリハーサルを行い情報共有、内容改善を繰り返す						
第10回	リアルウェディング(リハーサル編)	各パートごとの練習や準備を一同に集め、繰り返しリハーサルを行い情報共有、内容改善を繰り返す						
第11回	リアルウェディング(リハーサル編)	職員を招き、本番想定のリハーサルを実施						
第12回	リアルウェディング(リハーサル編)	本番に備えた最終準備・リハーサル						
第13回	リアルウェディング実施	準備から本番、お見送りまで当日の運営を全て学生達で行う				レポート提出		
第14回								
第15回								
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 発表内容に関するレポート提出、準備姿勢、発表当日の完成度に、出席点を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀(S):100点~90点
小テスト								優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	○			25	良(B):79点~70点
授業態度		◎	○				40	可(D):69点~60点
発表・作品	◎	○	◎	○	○		35	不可(E):59点以下
演習								
出席			○					失格条件
担当教員	喜多村 公美			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/</a>			

2020年度 シラバス

科目名	セレモニープロデュースⅠ			単位数	1	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	1年次	開設期	通期	
区分	必修			開設時期		教員実務経験対象		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	模擬披露宴の企画・立案・施行の全てを学生達で行い、ブライダルに関わるスタッフのそれぞれの役割や、チームワークを学ぶ。							
授業の一般目標	模擬挙式をオープンキャンパスにて実施し、高校生や教員へ披露する。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	挙式の進行やあらゆる演出について説明が出来る							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	準備及び本番の時間管理を行いながら、オリジナルの挙式を実行する事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	授業で学んだ知識を積極的に取り入れた挙式を行える							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	プロのプランナーと同等のマナーで参加者や他の学生に対応する事ができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	司会、音響、衣裳などそれぞれ与えられた役割を円滑にこなす事ができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	オリエンテーション	授業の概要、模擬挙式までのスケジュールを説明						
第2回	テーマ・役割の確定	模擬挙式の役割とテーマを確定し、スケジュールを話し合う						
第3回	模擬挙式準備	装飾や新郎新婦イメージの確定						
第4回	音響・照明について	グループごとに分かれ、音響及び照明の技術を学ぶ						
第5回		グループごとに分かれ、音響及び照明の技術を学ぶ						
第6回	模擬挙式準備	それぞれの役割ごとの準備・練習						
第7回	模擬挙式準備	それぞれの役割ごとの準備・練習						
第8回	模擬挙式準備	全体共有を行いながら役割ごとの準備・練習						
第9回	模擬挙式準備	準備とリハーサルを行う						
第10回	模擬挙式リハーサル	リハーサルの実施						
第11回	模擬挙式リハーサル	リハーサルの実施						
第12回	模擬挙式リハーサル	本番想定のリハーサルを行う						
第13回	模擬挙式実施	オープンキャンパスで模擬挙式を実施						
第14回	振り返り	改善点をディスカッションし、ブライダルプロデュース授業へ繋げる						
第15回	期末テスト実施	模擬挙式の振り返りレポートの提出						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 発表内容に関するレポート提出、準備姿勢、発表当日の完成度に、出席点を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					15	秀 (S):100点~90点
小テスト								優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	○			10	良 (B):79点~70点
授業態度		◎	○				30	可 (D):69点~60点
発表・作品	◎	○	◎	○	○		45	不可(E):59点以下
演習								
出席			○					
担当教員	喜多村 公美			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/</a>			

科目名	フラワーコーディネイトⅠ		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	結婚式や披露宴を演出するために必要なカラーフラワーの知識を理解する。フラワーアレンジメントの基本の実践とテクニックを学び、表現を身に付ける。ドレスに合ったブーケ提案、披露宴イメージにあったテーブル装飾が提案できる。							
授業の一般目標	花の種類、等基本的な知識の修得。ドレスや披露宴に合ったブーケの提案が出来る。アレンジの基本的な技術の習得。ブライダルフラワーコーディネーター検定(BFC)3級							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	ブライダルフラワーの基礎知識を説明し、検定を取得する。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	後期の実践的授業に向けて、会場イメージを想像し、ドレスにあったブーケデザインを考える事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	季節ごとの花、ブライダルに合う装花について、授業以外でも主体的に学ぶ事ができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	お客様のニーズを引き出し、お客様が求める色合いやデザインを提案できるようになる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	フラワーアレンジメントの基本のテクニックを身につける事ができる。							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	卓上装花(テーブル花① ラウンド)	花の種類・花の水揚げ方法・材料・用具の種類・卓上装花制作実習						
第2回	ブーケ①ラウンド(チュールの作り方)	ブーケの種類・ブーケの花材・ドレスとブーケのバランス ブーケの用具・ブーケの制作実習						
第3回	ブートニア(リボンの作り方)	ブートニアの意味・ワイヤリング・テーピングの手法 ブートニアの制作実習						
第4回	ブライダルフラワー検定対策	フラワー検定3級対策				確認問題		
第5回	ヘアオーナメント	ヘアオーナメントの種類・花選び・ワイヤリング・テーピングの手法・ヘアオーナメントの制作実習						
第6回	ケーキ花(180度のデザイン)	ウェディングに必要な装花を学ぶ・ケーキと一体感のある フラワーアレンジメント実習				確認問題		
第7回	卓上装花(テーブル花② ホリゾンタル)	テーブル花の種類・卓上装花の制作実習						
第8回	ブーケ②(束ねるブーケ)	ブーケの種類・スタイル・制作方法・ブーケの制作実習						
第9回	メインテーブルのアレンジメント	ウェディングの装花の種類・デモンストレーション形式の実習						
第10回	フラワー検定3級対策	過去問題など						
第11回	ブーケ③キャスケード	アートフィッシャルフラワーのワイヤリング・テーピングの手法						
第12回	ブライダルフラワーコーディネーター検定3級対策	過去問題など						
第13回	ブライダルフラワーコーディネーター検定3級対策	過去問題など						
第14回	ブライダルフラワーコーディネーター検定3級対策	過去問題など						
第15回	ブライダルフラワーコーディネーター検定3級受験	ブライダルフラワーコーディネーター検定3級						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				20	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品		○	○				10	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員				実務経験紹介				

2020年度 シラバス

科目名	ブライダル広告研究		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年次	開設期			
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダル業界で大きく費用のかかる宣伝広告費を理解しながら、マーケティング手法を学びリアルウェディングのリーフを作成する事で集客につなげる。							
授業の一般目標	宣伝広告費を理解する。ビジネスフレームワークを理解する。リーフ作りに必要なキャッチコピーの作り方を理解する。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ブライダル業界の広告について関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	ブライダル業界の広告について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	ブライダル業界の広告宣伝費を理解する	ブライダル業界の広告宣伝費はどのくらいかかるのか？大手企業の広告宣伝費を参考に売り上げから広告宣伝費の割合を知る						
第2回	広告と宣伝の違いを理解する	広告と宣伝の違いを理解し、どのように広告宣伝をしていけばリアルウェディングの顧客を集客できるかプレステディスカッションを行う						
第3回	環境やサービス内容を分析する①	身近な題材を用いてSWOT分析を理解する						
第4回	環境やサービス内容を分析する②	SWOT分析を理解し現在の取り巻く環境やリアルウェディングの強み弱みを改めて分析する						
第5回	顧客について分析する①	身近な題材を用いてペルソナを理解し顧客を分析する						
第6回	顧客について分析する②	リアルウェディングを希望する顧客はどのような顧客かペルソナを用いて分析する						
第7回	キャッチコピーを考える①	あらゆる企業の有名なキャッチコピーを知り、キャッチコピーの考え作り方を学ぶ						
第8回	キャッチコピーを考える②	実際に例題を用いてキャッチコピーを作成する						
第9回	テキスト構成を考える	見やすいフォント、テキストの構成を学ぶ						
第10回	リーフ作成のための素材集め	リーフ作成に必要な素材を集める						
第11回	リーフ作成のための素材集め	リーフ作成に必要な素材を集める						
第12回	リアルウェディングリーフの作成	リーフ作成						
第13回	リアルウェディングリーフの作成	リーフ作成						
第14回	リアルウェディングリーフの作成	リーフ作成						
第15回	リアルウェディングリーフの作成	リーフ作成						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				



科目名	ブライダル映像基礎			単位数	1	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	1年次	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	後期	教員実務経験対象		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダルの映像について学び、お客様に説明できるレベルになる。							
授業の一般目標	ウェディングシーンにおける映像の作成やその効果、動画などを利用した演出などを学ぶ。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ウェディングで使用される映像に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダル映像について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	映像とブライダル	ブライダル現場で使用される映像とは						
第2回	映像の役割	映像がもたらす効果						
第3回	写真とブライダル	ブライダル現場で使用される写真とは						
第4回	写真の役割	ブライダル現場でのフォトウエディングとは						
第5回	ブライダル広告と映像	広告と映像、写真の効果						
第6回	ブライダル広告と写真	広告と映像、写真の効果						
第7回	パソコンを使った写真加工法	パソコンのソフトを使用した写真加工						
第8回	パソコンを使った写真加工法	パソコンのソフトを使用した写真加工						
第9回	ブライダルフォトの実際	フォトウエディングの実際						
第10回	ブライダルフォトの種類	フォトウエディングの実際						
第11回	京都のロケーション撮影	京都のロケーション撮影について						
第12回	インスタについて	インスタの効果、ブライダルとインスタ						
第13回	映像の効果	映像がもたらす効果 U t u b eとウエディング						
第14回	なぜ映像が必要なのか	映像が必要な場面と、その効果						
第15回	期末試験	期末試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	インターンシップ I		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダル業界研究で得た知識をもとにインターンシップ依頼、インターンシップリテラシーを学び、事前準備学習を行う。インターンシップを通じて得た経験を体験報告をレポートにまとめ、報告書を作成する。							
授業の一般目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自らの専攻やキャリアに関連した就業体験によって高い職業意識を育成する</li> <li>2. 実社会に触れる事によって学習意欲を向上させる</li> <li>3. 人間性を高め、基本的な生活習慣を身に付ける</li> </ol>							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	ブライダル業務全般を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	結婚式や披露宴において必要な準備や手順がわかる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	実務研修の心構え	インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行なう。						
第2回	実務研修の依頼	就職を希望する企業・サロンの調査法。インターンシップの依頼（電話・依頼文作成）、企業等とのマッチング、日程調整						
第3回	挨拶状・レポート作成	受け入れ企業の決定に基き必要書類などの作成を行いインターンシップを有意義なものにする						
第4回	実務研修	受け入れ事業所で就業体験（実習日誌）						
第5回								
第6回								
第7回								
第8回								
第9回								
第10回								
第11回								
第12回								
第13回								
第14回	インターンシップ報告会	インターンシップを通じて得た知見や経験を受講者全員で共有化することを目的に体験報告を行なう。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。また、体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する。						
第15回								
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 研修内容に関するレポート提出、準備姿勢、研修に取り組む姿勢に、出席点を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート	◎	◎	○	◎			30	B(2):70点以上
授業態度			○	○			15	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習	◎	○	◎				55	
出席			○				欠格条件	
担当教員	喜多村 公美		実務経験紹介	<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/</a>				

科目名	インターンシップⅡ		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダル業界研究で得た知識をもとにインターンシップ依頼、インターンシップリテラシーを学び、事前準備学習を行う。インターンシップを通じて得た経験を体験報告をレポートにまとめ、報告書を作成する。							
授業の一般目標	1. 自らの専攻やキャリアに関連した就業体験によって高い職業意識を育成する 2. 実社会に触れる事によって学習意欲を向上させる 3. 人間性を高め、基本的な生活習慣を身に付ける							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	ブライダル業務全般を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	結婚式や披露宴において必要な準備や手順がわかる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	実務研修の心構え	インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行なう。						
第2回	実務研修の依頼	就職を希望する企業・サロンの調査法。インターンシップの依頼（電話・依頼文作成）、企業等とのマッチング、日程調整						
第3回	挨拶状・レポート作成	受け入れ企業の決定に基き必要書類などの作成を行いインターンシップを有意義なものにする						
第4回	実務研修	受入れ事業所で就業体験（実習日誌）						
第5回								
第6回								
第7回								
第8回								
第9回								
第10回								
第11回								
第12回								
第13回								
第14回	インターンシップ報告会	インターンシップを通じて得た知見や経験を受講者全員で共有化することを目的に体験報告を行なう。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。また、体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する。						
第15回								
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 研修内容に関するレポート提出、準備姿勢、研修に取り組む姿勢に、出席点を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート	◎	◎	○	◎			30	B(2):70点以上
授業態度			○	○			15	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習	◎	○	◎				55	
出席			○				欠格条件	
担当教員	喜多村 公美		実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/</a>				

科目名	インターンシップⅢ		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダル業界研究で得た知識をもとにインターンシップ依頼、インターンシップリテラシーを学び、事前準備学習を行う。インターンシップを通じて得た経験を体験報告をレポートにまとめ、報告書を作成する。							
授業の一般目標	1. 自らの専攻やキャリアに関連した就業体験によって高い職業意識を育成する 2. 実社会に触れる事によって学習意欲を向上させる 3. 人間性を高め、基本的な生活習慣を身に付ける							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	ブライダル業務全般を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	結婚式や披露宴において必要な準備や手順がわかる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	実務研修の心構え	インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行なう。						
第2回	実務研修の依頼	就職を希望する企業・サロンの調査法。インターンシップの依頼（電話・依頼文作成）、企業等とのマッチング、日程調整						
第3回	挨拶状・レポート作成	受け入れ企業の決定に基き必要書類などの作成を行いインターンシップを有意義なものにする						
第4回	実務研修	受入れ事業所で就業体験（実習日誌）						
第5回								
第6回								
第7回								
第8回								
第9回								
第10回								
第11回								
第12回								
第13回								
第14回	インターンシップ報告会	インターンシップを通じて得た知見や経験を受講者全員で共有化することを目的に体験報告を行なう。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。また、体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する。						
第15回								
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 研修内容に関するレポート提出、準備姿勢、研修に取り組む姿勢に、出席点を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート	◎	◎	○	◎			30	B(2):70点以上
授業態度			○	○			15	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習	◎	○	◎				55	
出席			○				欠格条件	
担当教員	喜多村 公美		実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/</a>				

科目名	ビジネス基礎 I		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	会社とはどのような組織か、そこで行われている仕事とはどのような内容かを学ぶ。							
授業の一般目標	秘書検定3級(11月受験)の合格。ビジネスパーソンとしての最低限のマナーを身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	秘書検定実問題集3級							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	秘書検定3級合格の知識を習得							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	秘書業務を学んだうえで社会人としてどのように活用できるか判断できる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ビジネススキルを理解した上で模擬挙式に活用する事が出来る							
<input type="checkbox"/> 態度の観点								
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	検定の概要	授業の進め方 検定概要の確認				秘書検定3級対策		
第2回	必要とされる資質 秘書の心構え 必要	秘書業務の心構え・身だしなみ・第一印象 心遣い、守秘義務、社内連絡、				秘書検定3級対策		
第3回	職務知識 秘書の役割と機能 職務	秘書の分類 心構え 定型業務				秘書検定3級対策		
第4回	一般知識 企業の基礎知識	企業の目的 会社の形態と会社の種類 組織と機能 経営管理				秘書検定3級対策		
第5回	企業の組織と活動	人事 労務 会計 財務 マーケティング				秘書検定3級対策		
第6回	社会常識	基礎用語 上位 s 機としての片仮名語				秘書検定3級対策		
第7回	人間関係と話し方	人間関係と話し方 人間関係の重要性 挨拶 話し方と人間関係				秘書検定3級対策		
第8回	話し方聞き方の応用	話し方聞き方の応用 情報伝達の仕方 報告の仕方				秘書検定3級対策		
第9回	電話応対	電話応対 電話のマナーと話し方の注意点				秘書検定3級対策		
第10回	接遇	接遇の心構え アポイント調整 受付マナー 案内マナー				秘書検定3級対策		
第11回	交際	慶事の知識とマナー 食事のマナー				秘書検定3級対策		
第12回	会議と秘書	会議の目的と種類 会議の種類				秘書検定3級対策		
第13回	ビジネス文書と秘書	社内文書の基礎知識 種類と形式 慣用表現 文書管理				秘書検定3級対策		
第14回	資料管理	ファイリングの基礎知識 名刺の整理 日程管理				秘書検定3級対策		
第15回	日程管理 オフィス管理	日程管理と予定表 予定表の作成				秘書検定3級対策		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	岡澤 ひとみ			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/okazawa/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/okazawa/</a>			

科目名	ビジネス基礎Ⅱ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	会社とはどのような組織か、そこで行われている仕事とはどのような内容かを学ぶ。							
授業の一般目標	秘書検定2級(1月受験)の合格。ビジネスパーソンとしての最低限のマナーを身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	秘書検定実問題集2級							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	秘書検定2級合格の知識を習得							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	秘書業務を学んだうえで社会人としてどのように活用できるか判断できる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ビジネススキルを理解した上で模擬挙式に活用する事が出来る							
<input type="checkbox"/> 態度の観点								
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	3級試験範囲の復習	3級試験範囲の復習						
第2回	3級試験範囲の復習	3級試験範囲の復習						
第3回	模擬試験実施	過去問の実施						
第4回	必要とされる資質	秘書の心構え 秘書に必要な条件						
第5回	職務知識	秘書の役割と機能 秘書の職務						
第6回	一般知識 企業と経営	資本と経営 企業の組織形態 経営管理						
第7回	一般知識 企業の活動	人事労務 会計財務 手形小切手 税務 生産管理						
第8回	社会常識	情報処理とニューメディア 常識としての基礎用語略語カタカナ語						
第9回	マナー 接遇	人間関係と話し方・聞き方 基礎応用						
第10回	電話対応と接遇 交際	電話対応の基本 接遇用語の使い方 慶事の対応 パーティ等の知識						
第11回	会議と秘書	会議の知識 準備設営 会議中の秘書の仕事						
第12回	ビジネス文書の作成 文書の取り扱い	社内文書の種類と形式 社交文書 ビジネス文書の慣用語 メモの取り方						
第13回	文書 資料管理	ファイリングの基本 保管方法 名刺の整理 情報収集と管理						
第14回	日程管理とオフィス管理	予定表の種類と記入要項 事務用品の種類						
第15回	模擬試験の実施	秘書検定2級の過去問実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	岡澤 ひとみ		実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/okazawa/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/okazawa/</a>				

科目名	硬筆書写 I		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダル業界に必要な美しい手書き文字を身に付け、お客様への手紙、商談のメモ等、字で信頼して頂くために、硬筆書写の基礎的な技術及び知識をもって書くことが出来るようになる。(6月4級受験)							
授業の一般目標	硬筆書写検定4級受験及び11月3級合格のための学び							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	硬筆書写技能検定4級合格のポイント							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	次をりっぱに書くということに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で書写について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	美しい文字を書く基本を学ぶ。用具、テキスト、ドリルの活用方法、学習計画が理解できる						
第2回	速書き	一定の時間内に、一定の文章を書き終える事ができる				4級の学習		
第3回	漢字と平仮名を大きく書く	5～6字くらいの語句を、2.5センチのますめに1字ずつ書くことができる				4級の学習		
第4回	縦書き(漢字と仮名交じり文)	ボールペン・サインペンで40字ほどの感じ仮名交じり文を、行の幅1.7センチの縦けいのあるところに楷書で書くことができる				4級の学習		
第5回	横書き(漢字仮名交じり文)	片仮名、数字、ローマ字が混ざっている55字ぐらいの文を、横書きで書くことができる				4級の学習		
第6回	簡単な掲示を書く	10字ぐらいの短い文を、わくの中に適当な位置に大きさ・太さに留意しながら書くことができる				4級の学習		
第7回	教育漢字と仮名の筆順	多く用いられる平易な漢字の点画、筆順を正しく字形を整えて書くことができる				4級の学習		
第8回	過去問題実施 模擬試験の実施①	硬筆書写検定4級受験を想定し模試を実施				4級の学習		
第9回	過去問題実施 模擬試験の実施②	硬筆書写検定4級受験を想定し模試を実施				4級の学習		
第10回	速書き	一定の時間内に、一定の文章を美しく正しく書き終える事ができる				3級の学習		
第11回	漢字(楷・行)を大きく書く	漢字の楷書と行書の基本を理解し書くことができる				3級の学習		
第12回	縦書き(漢字と仮名交じり文)	ボールペン・サインペンで45字ほどの漢字仮名交じり文を、行の幅1.7センチの縦けいのあるところに行書で書くことができる				3級の学習		
第13回	横書き(漢字仮名交じり文)	片仮名、数字、ローマ字が混ざっている60字ぐらいの文を、感じは楷書で、数字やローマ字は似合うもので横書きで書くことができる				3級の学習		
第14回	添え状、履歴書、お礼状の作成①	添え状、履歴書、お礼状を書く上での留意点を学び実際に作成する				インターンシップ		
第15回	添え状、履歴書、お礼状の作成①	添え状、履歴書、お礼状を書く上での留意点を学び実際に作成する				インターンシップ		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	硬筆書写Ⅱ			単位数	1	科目コード		
授業形態	講義			対象学生	1年次	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	後期	教員実務経験対象		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダル業界に必要な美しい手書き文字を身に付け、お客様への手紙、商談のメモ等、字で信頼して頂くために、硬筆書写の基礎的な技術及び知識をもって書くことが出来るようになる。11月3受験 1月2級受験							
授業の一般目標	硬筆書写3級合格。美しい文字を書く基本を学ぶ。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	はがきの宛名書き	けいの無いはがきにそれぞれの部分、書く位置、文字の大きさ、行間を考え宛名を書くことができる					3級の学習	
第2回	掲示を書く	適当な大きさの字で位置や行間の空き等全体から見た構成に注意し、体裁よく掲示を書くことができる					3級の学習	
第3回	漢字の部分の名称	漢字を構成している名称を理解する					3級の学習	
第4回	常用漢字の筆順	常用漢字全般の筆順を覚えることができる					3級の学習	
第5回	草書を読む	平易な草書体の漢字を読むことができる					3級の学習	
第6回	常用漢字の字体	誤字と不適当な字を指摘し、正しく書き留めることができる					3級の学習	
第7回	添え状、履歴書、お礼状の作成①	添え状、履歴書、お礼状を書く上での留意点を学び実際に作成する						
第8回	添え状、履歴書、お礼状の作成①	添え状、履歴書、お礼状を書く上での留意点を学び実際に作成する						
第9回	速書き	一定の時間内に、一定の文章を美しく正しく書き終える事ができる					2級の学習	
第10回	漢字(楷・行)を大きく書く	漢字の楷書と行書の基本を理解し書くことができる					2級の学習	
第11回	縦書き(漢字と仮名交じり文)	ボールペン・サインペンで45字ほどの漢字仮名交じり文を、行の幅1.7センチの縦けいのあるところに行書で書くことができる					2級の学習	
第12回	横書き(漢字仮名交じり文)	片仮名、数字、ローマ字が混ざっている60字ぐらいの文を、感じは楷書で、数字やローマ字は似合うもので横書きで書くことが出来る					2級の学習	
第13回	漢字の部分の名称	漢字を構成している名称を理解する					2級の学習	
第14回	常用漢字の筆順	常用漢字全般の筆順を覚えることができる					2級の学習	
第15回	模擬試験の実施	過去問の実施					2級の学習	
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				



科目名	サービス接遇Ⅰ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダル業界で働くにあたり必要な心構えと接客力を身につける、サービス接遇を通し、理解を深める。							
授業の一般目標	ブライダル業界で働く楽しさを新郎新婦のコーディネーターなどから感じ取り、それをサポートする接客力を習得する。就職活動や社会人にスムーズになれる言動を身につける。サービス接遇3級(6月受験)準1級(11月受験)2級合格(1月受験)を目標とする。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	授業の進め方の説明と検定要項の確認				3級試験対策		
第2回	サービススタッフの資質	必要とされる要件、従業要件が理解できる				3級試験対策		
第3回	専門知識	サービスの意義、機能、種類を理解する 商業用語、経済用語が理解できる				3級試験対策		
第4回	一般知識	社会常識、時事問題が理解できる				3級試験対策		
第5回	対人技能	一般的な人間関係や対人心理、マナーが理解できる				3級試験対策		
第6回	対人技能	接遇用語を理解し基本的な話し方ができる 提示説明の仕方が理解できる				3級試験対策		
第7回	実務技能	問題処理、環境整備、金品管理について理解できる				3級試験対策		
第8回	過去問題実施 模擬試験の実施	サービス接遇検定3級の過去問を実施				3級試験対策		
第9回	サービススタッフの資質	必要とされる要件、従業要件が備えており判断、表現ができる				2級試験対策		
第10回	専門知識	サービスの意義、機能、種類を理解する 商業用語、経済用語が理解できる				2級試験対策		
第11回	一般知識	社会常識があり、時事問題が理解できる				2級試験対策		
第12回	対人技能	一般的な人間関係や対人心理、マナーを理解し表現、実行することができる				2級試験対策		
第13回	対人技能	接遇用語を知っており接遇者としての話し方ができる 提示説明ができる				2級試験対策		
第14回	実務技能	問題処理、環境整備、金品管理について理解し、対処ができる				2級試験対策		
第15回	期末試験の実施	期末試験の実施				2級試験対策		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	岡澤 ひとみ		実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/okazawa/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/okazawa/</a>				

科目名	サービス接遇Ⅱ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダル業界で働くにあたり必要な心構えと接客力を身につける、サービス接遇を通し、理解を深める。							
授業の一般目標	ブライダル業界で働く楽しさを新郎新婦のコーディネーターなどから感じ取り、それをサポートする接客力を習得する。就職活動や社会人にスムーズになれる言動を身につける。サービス接遇3級(6月受験)、2級(1月受験)準1級(12月受験)を合格目標とする。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	授業の進め方の説明と検定要項の確認				準1級試験対策		
第2回	接客ロールプレイング	接客者としての基本言動(言葉使い、所作)ができる				準1級試験対策		
第3回	接客ロールプレイング	接客者としての基本言動(言葉使い、所作)ができる				準1級試験対策		
第4回	接客ロールプレイング	接客者としての基本応対ができる				準1級試験対策		
第5回	接客ロールプレイング	接客者としての基本応対ができる				準1級試験対策		
第6回	接客ロールプレイング	接客者としての基本応対ができる				準1級試験対策		
第7回	接客ロールプレイング	接客者としての基本応対ができる				準1級試験対策		
第8回	接客ロールプレイング	模擬面接実施				準1級試験対策		
第9回	接客ロールプレイング	模擬面接実施				準1級試験対策		
第10回	2級対策授業	2級試験範囲復習				2級試験対策		
第11回	2級対策授業	2級試験範囲復習				2級試験対策		
第12回	模擬試験	検定試験直前対策、2級合格のポイントを押さえる				2級試験対策		
第13回	模擬試験	検定試験直前対策、2級合格のポイントを押さえる				2級試験対策		
第14回	サービス接遇検定答え合わせ	2級試験範囲復習						
第15回	期末試験実施	期末試験実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	岡澤 ひとみ			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/okazawa/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/okazawa/</a>			

科目名	プレゼンテーション・ディベート学 I		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	プレゼンテーションを行なうために必要な基本的な事柄を学ぶ。プレゼンテーションの意義・目的、内容、進め方、ツールの活用など、基礎を学ぶと同時に、話し方などの口頭表現、身体表現を中心とした演習を行なう。							
授業の一般目標	プレゼンテーション能力の養成・向上を目指して、基本的な知識を修得し、さまざまな場面で自分の考えをしっかりと相手に伝える積極的な意思表示ができるようになる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	プレゼンテーションに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でプレゼンテーションについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	プレゼンテーションとは	プレゼンテーションの種類と定義について						
第2回	コミュニケーションとプレゼンテーション	コミュニケーションとプレゼンテーションの違いについて						
第3回	プレゼンテーションの目的	紹介のプレゼンテーション						
第4回	プレゼンテーション準備と流れ 1	聞き手の分析や目的の明確化						
第5回	プレゼンテーション準備と流れ 2	プラン作成やツールについて						
第6回	聴衆に好感を持たれる話し方の基本	聴衆に好感を持たれる話し方の基本を学ぶ						
第7回	バーバル表現	聴衆に好感を持たれる態度、演出法						
第8回	ノンバーバル表現	聴衆に好感を持たれる態度、演出法						
第9回	身近なプレゼンテーション	スピーチ・フリートーク						
第10回	ディベート理論	インタビューをしてみよう						
第11回	ディベート基礎	会議と司会をしてみよう						
第12回	ディベート基礎	学校生活について話してみよう						
第13回	ディベート演習	グループワーク						
第14回	発表に向けてのリハーサル							
第15回	プレゼンテーション発表と振り返り							
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

2020年度 シラバス

科目名	ビジネス英語基礎		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	英語を「知っている」から「使える」に変える為、中学高校で学んだ英語を使いながら会話力を身に付け、海外のお客様に対しても臆することなく、声がかげられるようになる事をビジネス基礎英語の目標とする。							
授業の一般目標	英語で接客の基本的な会話が行えるようになる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	接客でよく使用する英単語やフレーズを覚える事ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	知っている英単語を使って会話を考えたり、作ったりする事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	英会話に関する関心を広げ、自らすすんで話してみる事ができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で英語について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	自己紹介や基本の接客を英語で行えるようになる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	授業概要説明・確認テスト						
第2回	自分について話す	中学や高校で習った英語を使って、自己紹介してみる						
第3回	基本表現①	出会いや別れの挨拶・問いかけの表現						
第4回	基本表現②	お礼やお詫び・あいづち・わからない時の表現						
第5回	基本表現③	ホテルや飲食店、結婚式の職種・施設・設備などの単語を覚える						
第6回	接客英会話	声をかける・場所をご案内する				確認小テスト		
第7回	接客英会話	商品をお勧めする・注文を受ける						
第8回	接客英会話	依頼をするフレーズ						
第9回	接客英会話	日付や時間に関するヒアリング・案内の表現				確認小テスト		
第10回	学校について話す	学校生活について英語で話してみる						
第11回	接客英会話	アルバイト先に外国人が来た時の会話を考えて英語にしてみる						
第12回	自己PR英語	自己PRを作ってみる						
第13回	自己PR英語	自己PRスピーチを英語で行う						
第14回	総復習	接客でよく利用する単語やフレーズの総復習を行う						
第15回	期末テスト							
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					40	秀 (S):100点~90点
小テスト	○		○				20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート			○	○			10	良 (B):79点~70点
授業態度		◎	○				10	可 (D):69点~60点
発表・作品	◎	○	◎	○	○		20	不可 (E):59点以下
演習								
出席			○					
担当教員	実務経験紹介							

科目名	基本IT技術 I		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	伝える！ 伝わる！ デザインセンスのあるデータの作成ができるようになること。 また、デジタルデザインの基礎知識表現力を習得する							
授業の一般目標	Word・PowerPoint他アプリを使用しながら伝わるデザインを模索し完成させ伝えることができるようになること。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学んだ事を説明でき領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べるができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	伝える事の意味に関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で伝える事について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	プロ目線の思考と表現ができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	パソコンルームの使用法とデジタル基礎講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンルームの使用上の注意事項について</li> <li>・自己紹介</li> <li>・DTPからWEBまた使用する環境・端末など、」広範囲にわたる知識を得るための基礎体力をつける。</li> </ul>						
第2週	デジタル基礎講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DTPからWEBまた使用する環境・端末など、広範囲にわたる知識を得るための基礎体力をつける。</li> </ul>						
第3週	Word基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの演習と課題を与えて、指定時間内に提出する。</li> </ul>						
第4週	Word基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの演習と課題を与えて、指定時間内に提出する。</li> </ul>						
第5週	Word基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの演習と課題を与えて、指定時間内に提出する。</li> </ul>						
第6週	Word基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの演習と課題を与えて、指定時間内に提出する。</li> </ul>						
第7週	デザイン基礎講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインの技法やレイアウトについて理解し、作成する</li> </ul>						
第8週	画像編集基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリの操作方法と画像編集の基礎を習得する</li> </ul>						
第9週	Word応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名刺を作成する</li> </ul>						
第10週	Word応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を与えて、A4リーフレットを作成、完成させる</li> </ul>						
第11週	Word応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を与えて、A4リーフレットを作成、完成させる</li> </ul>						
第12週	Word応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期定期試験実施</li> </ul>						
第13週	PowerPoint基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・操作方法を理解する</li> <li>・プレゼンテーション技法を理解する</li> </ul>						
第14週	PowerPoint応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な課題を与えて、5枚程度のシートを作成する</li> </ul>						
第15週	PowerPoint応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な課題を与えて、5枚程度のシートを作成し、完成させる</li> </ul>						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	基本IT技術Ⅱ		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	デジタルを利用することでルーチンワークの軽減を体験する。 また、インターネット・ホームページ・パソコンなどの広範囲のデジタルの基礎知識を習得する							
授業の一般目標	Excelを使用しながら省く！をテーマにデータ完成させることができるようになること。 またホームページの更新作業についての基礎知識を得る。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	PowerPoint応用	プレゼンテーション						
第2回	動画編集基礎	PowerPointを用い動画編集の基礎を学ぶ						
第3回	動画編集基礎	PowerPointを用い動画編集の基礎を学ぶ						
第4回	PowerPoint応用	プレゼンテーション						
第5回	Excel基礎	・ テキストの演習と課題を与えて、指定時間内に提出する。						
第6回	Excel基礎	・ テキストの演習と課題を与えて、指定時間内に提出する。						
第7回	Excel基礎	・ テキストの演習と課題を与えて、指定時間内に提出する。						
第8回	Excel基礎	・ テキストの演習と課題を与えて、指定時間内に提出する。						
第9回	Excel基礎	・ テキストの演習と課題を与えて、指定時間内に提出する。						
第10回	Excel基礎	・ テキストの演習と課題を与えて、指定時間内に提出する。						
第11回	Excel基礎	・ テキストの演習と課題を与えて、指定時間内に提出する。						
第12回	ホームページ基礎	・ HTMLとCSSを理解する。						
第13回	ホームページ基礎	・ ホームページの更新作業を理解する。						
第14回	Excel基礎	後期定期試験実施						
第15回	ホームページ基礎	最終課題作成とパソコン内のデータ整理および削除作業						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	色彩学		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	色は生活の様々な分野にかかわっている。色彩に関する基本的なことを学習し人の心理面にどのような働きかけをすりのかを知り効果的に使用していく。色の分類・効果・演出と体系的に学習していく。							
授業の一般目標	テキストやカラーチャートなどを使用して色彩の分類・効果的な選択ができるようになる。パーソナルカラー分析を行い目安としてパーソナルカラー検定3級を受験する。さらにブライダルにおいて会場やテーブル・衣裳などの選択の選択の感性を磨く							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	パーソナルカラー検定公式テキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	色彩学とは	色彩学を学ぶ意義について						
第2回	四季の自然を表わす色	春／夏／秋／冬に関わる色について						
第3回	日本の色の歴史	特徴的な伝統色						
第4回	色と生活	周りを取り巻く様々な色、衣食住						
第5回	色の種類	赤・橙・黄・緑・青・紫・白黒・グレー系統						
第6回	色の仕組み	物体色と光源色、無彩色と有彩色						
第7回	CUS表色系	カラーアンダートーンシステム						
第8回	色の三属性と対比現象	明度・彩度・色相						
第9回	色の感情効果	明度・彩度・色相に関する心理効果						
第10回	cus配色効果	アンダートーンとは						
第11回	ファッション概論	基本的な配色テクニック						
第12回	ブライダルと色彩	ウエディングと配色調和						
第13回	パーソナルカラー	肌色のしくみ						
第14回	パーソナルカラーの特徴	人の特徴によるアンダートーン パーソナルカラー						
第15回	検定対策	パーソナルカラー3級検定試験対策						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	ブライダルヘアメイク		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	即戦力として活用できる着付けとブライダルメイクヘアを学ぶ。							
授業の一般目標	ブライダルにおけるヘア・メイク・着付けなどの知識や技術を習得する。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ブライダルヘアメイクに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダルヘアメイクについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	トータル・ヘアメイク	技術チェック。相モデルで骨格やパーツなどの補正						
第2回	トータル・ヘアメイク	相モデル30分フルメイク カウンセリングとアップスタイル2パターン						
第3回	トータル・ヘアメイク	相モデル30分フルメイク 和装と洋装のメイクの違い						
第4回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、前回とは違うペアーで、オーダー通りにヘアメイクを仕上げる						
第5回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、前回とは違うペアーで和装のオーダー通りにヘアメイクを仕上げる アテンドの知識						
第6回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、前回とは違うペアーで、洋装花嫁の特殊なオーダー通りにヘアメイクを仕上げる						
第7回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、洋装→和装のヘアメイクのクイックチェンジを行う						
第8回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、洋装→和装のヘアメイクのクイックチェンジを行う						
第9回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、和装→洋装のヘアメイクのクイックチェンジを行う						
第10回	トータル・ヘアメイク	ショー用ヘアメイクアレンジ①						
第11回	トータル・ヘアメイク	ショー用ヘアメイクアレンジ①						
第12回	トータル・ヘアメイク	ショー用ヘアメイクアレンジ①						
第13回	トータル・ヘアメイク	相モデルの試験対策準備：衣裳とヘアメイクデザインを考える						
第14回	トータル・ヘアメイク	作品制作						
第15回	トータル・ヘアメイク	作品制作						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 作品内容、準備姿勢、出席点を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			◎				10	C(1):60点以上
発表・作品	◎	○					50	D:59点未満 未修得
演習	◎	○	◎				30	
出席			○					欠格条件
担当教員	田村 綾加			実務経験紹介				



科目名	着付け・作法		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	浴衣の着付けから始め留袖の着付けで練習をしていく。帯結び(お太鼓・飾り結び)が数種できるように実践的な授業。和装の名称を覚える							
授業の一般目標	ブライダルの現場ではお直しや留袖の着付けを求められことも多いが対応することができるようになる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	着付けに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で着付けについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	着物について知ろう・畳み方	和室でのあいさつ・着物のたたみ方(本畳み、夜具畳み、長襦袢の畳み方、				裁縫セット タオル5枚・長襦袢 マスキングテープ持参		
第2週	長襦袢着付方①	身体に合った補正の仕方(畳み方練習)・長襦袢着付						
第3週	長襦袢着付②	補正～長襦袢着付(相モデル)						
第4週	留袖着付①	補正～長襦袢～留袖着付(相モデル)						
第5週	留袖着付②	補正～長襦袢～留袖着付(相モデル)						
第6週	留袖の帯結び①	長襦袢着付け(相モデル)・留袖着付二重太鼓						
第7週	留袖の着付	帯結びの基本としてお太鼓の結び方(相モデル)						
第8週	留袖の帯結び②	帯結びの基本としてお太鼓の結び方(相モデル)						
第9週	留袖の帯結び③	帯結びの基本としてお太鼓の結び方(相モデル)						
第10週	付け下げ着付け・帯結び①	二重太鼓変り結び・文庫系飾り結び						
第11週	新郎着付①	新郎和装着付①						
第12週	新郎着付②	新郎和装着付②						
第13週	自分で着られる・結べる(浴衣)	着物での立ち振舞いも習得する					浴衣持参	
第14週	留袖着付	お太鼓					裁縫セット タオル5枚・長襦袢 マスキングテープ持参	
第15週	期末試験	指導員の指定する時間内に着つけられるようになる						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	◎				20	S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			◎	○			20	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習	◎	○	◎				60	
出席			○					欠格条件
担当教員	若林 則子			実務経験紹介				

科目名	メイクアップ基礎		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	<座学>皮膚科学、顔の成り立ち～顔分析、ゴールデンプロポーションについて、色彩学、道具の名称～使いこなすなど <実技>クレンジング～ベースメイク作成、ポイントメイクの楽しさを知る							
授業の一般目標	人の顔に触れることに慣れる。基礎的なメイク理論・技術の修得。お客様に対する気配りや心遣いを学ぶ。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイク基礎に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイク基礎について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1週	授業の注意事項 道具の点検 美人ポイントメイク		授業の注意事項 道具の点検 ゴールデンプロポーション セルフメイク					
第2週	道具の置き方 身だしなみ ポイントクレンジング		道具セッティング 身だしなみ スキンケア流れ ウィッグを使ったポイントクレンジング練習					
第3週	全体クレンジング ポイントクレンジング		ウィッグを使った全体とポイントのクレンジング練習					
第4週	ポイントクレンジング乳化		相モデルでクレンジング練習 乳化まで相モデルにて					
第5週	化粧水・ふき取りクレンジング		拭きとりまでを相モデルにて					
第6週	化粧水 ポイントクレンジング(化粧水)		ポイント～ベーススプレッドまで相モデル練習					
第7週	ポイントクレンジング～化粧水		ウィッグを使ってこれまでの復習&探点のポイント					
第8週	ベーススプレッド		コントロールカラー・ファンデーション・コンシーラー					
第9週	ポイント～ベーススプレッド		相モデルでクレンジング～コンシーラーまでメイク					
第10週	スキンケア通し練習		フェイスパウダー・ハイライト・モデリング・ニュアンス					
第11週	クレンジング～スキンケア		相モデルでクレンジング～ベースメイク完成					
第12週	筆記試験対策		教科書説明&問題集					
第13週	筆記試験対策		教科書説明&問題集					
第14週	筆記試験対策		教科書説明&問題集					
第15週	クレンジング～スキンケア		相モデルでクレンジング～ベースメイク完成					
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	ヘアアレンジ			単位数	1	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	1年次	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	就職活動や就職後に役立つ為、自身の夜会巻やシニヨン等を短時間で美しく仕上げられるようになる。 また、新婦様のヘアスタイルについていくつかのパターンを習得しご提案可能となるよう、技術を習得する。 ウィッグ使用の実技中心となる。							
授業の一般目標	就職活動～卒業後の現場でのセルフヘアセット技術の習得。及び、新婦ヘアスタイルの基本を習得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ヘアアレンジに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でヘアアレンジについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	基礎知識	道具類の配布 道具類の種類と使用法・頭部の名称・黒ゴムの前準備・ブラッシング・						
第2回	身だしなみの為のアップスタイル	自分で出来るアップスタイル・夜会巻き・ホットカーラーの巻き方 ブロッキング						
第3回	身だしなみの為のアップスタイル	自分で出来るアップス・タイル・夜会巻き・アイロンの巻き方 ブロッキング・ホットカーラー						
第4回	基礎技術 (基礎1)	基本の毛束の持ち方と指使いを習得・表編み・裏編み ロープ編み・フィッシュボーン・ホットカーラー						
第5回	基礎技術 (編み込み)	各セクションより髪をすくい取り編み込んでいく・片側表三つ編み込み 両側編み込み・サイドのまとめ方・アイロン						
第6回	基礎技術 (基礎2)	各セクションより髪をすくい取り編み込んでいく・片側表三つ編み込み 両側編み込み・ネープのまとめ方・アイロン						
第7回	基礎技術 (基礎3)	全体のまとめ方・カラーアイロン						
第8回	基礎技術 (基礎4)	全体のまとめ方・カラーアイロン						
第9回	応用技術1	アレンジ1						
第10回	応用技術2	アレンジ2						
第11回	応用技術3	アレンジ3						
第12回	応用技術4	アレンジ4						
第13回	アップスタイルの作製	自分でデザインしてアレンジする1						
第14回	アップスタイルの作製	自分でデザインしてアレンジする2						
第15回	期末テスト対策	編み込みを取り入れたオリジナルアップスタイル作製						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 作品内容、準備姿勢、出席点を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	○			10	B(2):70点以上
授業態度	◎		○				10	C(1):60点以上
発表・作品	◎	○	◎				50	D:59点未満 未修得
演習	◎	○	◎				30	
出席			○					欠格条件
担当教員	若林 則子			実務経験紹介				

科目名	ブライダル企業研究		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	婚礼会場はどのような場所にあるのか、そこではどのような仕事があるのか、関連業種などについて調べる。インターンシップの事前学習も行う。 ブライダル業界をプレ・当日、新生活部分に分けて様々な角度から検討し、理解を深める。							
授業の一般目標	ブライダル業界を調べる事によって業界内の様々な職種を知る。また、そこで求められる人物像、知識などを各自が明確にイメージすることによって学習意欲を高める。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	就活ナビノート							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダル業界とは何かについて説明できる。 2. ブライダル業界の各領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げたブライダル関連企業について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ブライダルに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダル業界について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	ガイダンス	ブライダル業界の関連企業はどのようなものがあるか理解する						
第2回	ブライダル業界企業の特徴①	上場、未上場、親会社が他業種などブライダル企業の現在を知る						
第3回	ブライダル企業の特徴②	グループワークでブライダル企業を調べる						
第4回	ブライダル業界調査 発表	前回調べた企業を発表する						
第5回	企業研究 株式会社プラス	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第6回	企業研究 株式会社ブランドゥシー	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第7回	企業研究 株式会社ディアーズブレイン	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第8回	企業研究 株式会社スタイルズ	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第9回	企業研究 株式会社エスクリ	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第10回	企業研究 株式会社ノバレーゼ	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第11回	インターンシップについて	インターンシップ先での働き方やマナーについて						
第12回	インターンシップについて	インターンシップ先での働き方やマナーについて						
第13回	インターンシップ先の企業研究	リーガ、祝言、キヨミズ、ワタベウエディング など						
第14回	まとめとインターンに向けての心構え	これまでのまとめとその業界に求められる人物像などについてディスカッションを行う				ブライダル企業に関する レポート提出		
第15回	まとめとインターンに向けての心構え	インターンシップの事前学習、お礼状や履歴書の準備など						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点(レポート・小テスト)70%、授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート	◎	◎	○	○			40	B(2):70点以上
授業態度			○	○			20	C(1):60点以上
発表・作品		○	○				10	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	喜多村 公美		実務経験紹介	<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/</a>				

科目名	キャリアデザイン		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	各自の就職活動が円滑に進むよう、担当教員がアドバイスなどを適宜行う。エントリーをした企業への履歴書の記入や自己PRなどを具体的に指導する							
授業の一般目標	就職先企業が決まった後も今後仕事が長く出来るように自己研鑽をおこなう。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	就職に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で社会人について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	キャリアデザインについて	自己紹介・シラバス説明・就職活動について・キャリアマップ登録・就職希望調査						
第2回	就職活動企業様によるガイダンス	マイナビ2022登録・活用術、2022就職活動について						
第3回	就職活動企業様によるガイダンス 職務適性テスト	自己分析の実施：特性分析・性格の特徴・情緒傾向・職務適性・テスト信頼度・自分を伸ばす為のアドバイス の6つの項目から診断						
第4回	自己理解Ⅰ	過去を振り返り現在の自分を知る。ネガポジマップと自己PRマップの作成						
第5回	職務適性テストフィードバック	結果を基に自己及び他己評価を行い、自己PRを作る						
第6回	自己理解Ⅱ	グループワークにて「いいとこ探し」 自分自身の分析と他人から見た自分とのギャップを分析						
第7回	自己理解Ⅲ	文章化の練習・エントリーシートを作成し提出						
第8回	就職活動企業様ガイダンス	生活設計・家計管理・保険について						
第9回	企業研究Ⅰ	企業研究の必要性について・企業研究方法・説明会での基本所作						
第10回	企業研究Ⅱ	合同企業説明会参加企業の企業研究シート作成						
第11回	企業研究Ⅲ	企業研究発表(1人3分)・履歴書作成						
第12回	企業説明会に向けて	合同企業説明会にむけての最終確認(挨拶、所作、服装チェック) 尊敬語・丁寧語・謙譲語の学習						
第13回	模擬面接Ⅰ	企業説明会振り返り グループディスカッションDVD上映→解説→実践						
第14回	模擬面接Ⅱ	グループ面接について 個人面接DVD上映→解説→実践→動画撮影→振り返り						
第15回	模擬面接Ⅲ	模擬面接：評価→振り返り 今後の活動について						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								S(4):90点以上
小テスト	◎	○					10	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		○	○	◎			20	B(2):70点以上
授業態度			◎				30	C(1):60点以上
発表・作品	◎		○				40	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員				実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	メイクセラピー		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	花嫁様の披露宴での心理的なストレスを和らげるメイクセラピーの技術を身につける。							
授業の一般目標	メイクセラピスト2級合格を目指し、セラピストの知識として花嫁様に傾聴・アドバイスができる							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクセラピーに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクセラピーについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	メイクセラピーの意味	オリエンテーション						
第2週	メイクセラピーにおける顔の成り立ち	円心・求心						
第3週	メイクセラピーにおける顔の成り立ち	円心・求心が他人から見た時の印象						
第4週	自分の顔分析	相モデルにて顔の分析						
第5週	アイシャドーなどの使い方	円心・求心をどのように矯正するか						
第6週	カラーが人に与える印象	色の効果や光の効果						
第7週	カラーの効果	カラーが人に与える印象、その使い方						
第8週	印象分析	印象をコントロールし自分のコンプレックスを克服する						
第9週	傾聴の意味	クライアントの話の聴き方。その動作や実際の動き						
第10週	心理学の基本的な知識	罪悪感など人間の心理を学び、クライアントの軽重ができる						
第11週	リップやチーク、アイシャドウの色の持つ効果	リップ・アイシャドー・チークなど色の使い方で印象管理						
第12週	メイク実習	メイクセラピーの実習(メイク)						
第13週	メイク実習	メイクセラピーの実習(メイク)						
第14週	試験直前模試	筆記とメイク実習						
第15週	期末試験	全体の期末試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/okazawa/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/okazawa/</a>			

2020年度 シラバス

科目名	ブライダルプロデュースⅡ		単位数	2年次	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年次	開設期	通期		
区分	必修		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	学内でリアルウェディング(本物の結婚式)を行い、現場の緊張感やチームワークを学ぶ。 また、ブライダルに携わる業務全てを学生時代から経験する事で、プランナーとして通用する人間になる							
授業の一般目標	本物の結婚式と披露宴を、打合せから施行まで全てを学生主導で行う。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	挙式や披露宴の進行やあらゆる演出について説明が出来る							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	準備及び本番の時間管理を行いながら、オリジナルの披露宴と挙式を実行する事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	授業で学んだ知識を積極的に取り入れた進行を行える							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	プロのプランナーと同等のマナーで参加者や他の学生に対応する事ができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	司会、音響、衣裳などそれぞれ与えられた役割を円滑にこなす事ができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	リアルウェディング	概要説明・役割分担・完成までの準備スケジュールの確定				各担当ごとに、準備・練習を行い 都度情報の共有を行う		
第2回	リアルウェディング(準備編)	テーマについて(全体)、招待状・席札・席次等のデザインと作成						
第3回	リアルウェディング(準備編)	ドレス提案と着、ヘアメイク提案と施術、ブーケ、ヘアード提案と作成						
第4回	リアルウェディング(準備編)	進行内容確定(全体)、進行に添った司会台本の作成と練習、音響照明、カメラの練習と準備						
第5回	リアルウェディング(準備編)	会場レイアウト及び装飾の確定、装飾作成、席次表作成						
第6回	リアルウェディング(準備編)	打合せ内容の共有、当日スケジュール確定、備品類準備、当日サービス配置確定など						
第7回	リアルウェディング(打合せ編)	ゲストとの打合せ実践を行う(複数回実施予定)				レポート提出		
第8回	リアルウェディング(リハーサル編)	各パートごとの練習や準備を集約し、繰り返しリハーサルを行い情報共有、内容改善を繰り返す						
第9回	リアルウェディング(リハーサル編)	各パートごとの練習や準備を一同に集め、繰り返しリハーサルを行い情報共有、内容改善を繰り返す						
第10回	リアルウェディング(リハーサル編)	各パートごとの練習や準備を一同に集め、繰り返しリハーサルを行い情報共有、内容改善を繰り返す						
第11回	リアルウェディング(リハーサル編)	職員を招き、本番想定のリハーサルを実施						
第12回	リアルウェディング(リハーサル編)	本番に備えた最終準備・リハーサル						
第13回	リアルウェディング実施	準備から本番、お見送りまで当日の運営を全て学生達で行う				レポート提出		
第14回								
第15回								
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 発表内容に関するレポート提出、準備姿勢、発表当日の完成度に、出席点を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀(S):100点~90点
小テスト								優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	○			25	良(B):79点~70点
授業態度		◎	○				40	可(D):69点~60点
発表・作品	◎	○	◎	○	○		35	不可(E):59点以下
演習								
出席			○					失格条件
担当教員			実務経験紹介					

2020年度 シラバス

科目名	セレモニープロデュースⅡ		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年次	開設期	通期		
区分	必修		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	模擬挙式の企画・立案・施行の全てを学生達で行い、ブライダルに関わるスタッフのそれぞれの役割を理解して、ブライダルプランナーになる意識を高める							
授業の一般目標	保護者や学生、内定先の企業様をお招きして、模擬披露宴を実施する。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	披露宴の進行やあらゆる演出について説明が出来る							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	準備及び本番の時間管理を行いながら、オリジナルの披露宴を実行する事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	授業で学んだ知識を積極的に取り入れた披露宴を行える							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	プロのプランナーと同等のマナーで参列者や他の学生に対応する事ができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	司会、音響、衣裳などそれぞれ与えられた役割を円滑にこなす事ができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	授業の概要を説明、必要な役割を想定し決定する						
第2回	テーマ・スケジュールの確定	テーマを確定し、完成までのスケジュールを話し合う。						
第3回	模擬披露宴準備	装飾や新郎新婦イメージの確定・招待状のデザイン確定						
第4回	模擬披露宴準備	招待者リストアップ・招待状の作成						
第5回	模擬披露宴準備	進行表の完成→BGM・司会進行準備を開始する						
第6回	模擬披露宴準備	会場レイアウトを確定し、装飾品や新婦のブーケなどの準備を行う						
第7回	模擬披露宴準備	各役割ごとの準備や練習を行う						
第8回	模擬披露宴準備	各役割ごとの準備や練習を行う						
第9回	模擬披露宴リハーサル	動きを確認しながらリハーサルを行う						
第10回	模擬披露宴リハーサル	通しリハーサルを行い、動きの確認をする						
第11回	模擬披露宴リハーサル	客入りから迎賓までの動きを確認しながら通しリハーサルを繰り返す 当日スケジュールの最終確認						
第12回								
第13回	模擬披露宴実施	模擬披露宴の実施						
第14回								
第15回	期末テスト	振り返りレポート提出						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 発表内容に関するレポート提出、準備姿勢、発表当日の完成度に、出席点を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					15	秀 (S):100点～90点
小テスト								優 (A):89点～80点
宿題授業外レポート		◎	○	○			10	良 (B):79点～70点
授業態度		◎	○				30	可 (D):69点～60点
発表・作品	◎	○	◎	○	○		45	不可(E):59点以下
演習								
出席			○					
担当教員				実務経験紹介				



科目名	レストランサービス			単位数	2	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	2年次	開設期	半期	
区分	必修			開設時期		教員実務経験対象		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	レストランサービスに携わるプロフェッショナルとして身につけるべき基本事項を学び、お客様にレストランの料理だけではなく、ホスピタリティーに感動して頂くための技能を見につける。							
授業の一般目標	授業で学んだ内容を、リアルウェディングや模擬披露宴などの実践で活用し、就職後の接客サービスを円滑に行えるようになる							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	レストランサービスについて自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	日常生活の中でサービス、ホスピタリティーについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	授業で学んだ知識を、模擬披露宴やリアルウェディング等の実習で活かすことができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でサービス、ホスピタリティーについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	レストランサービスの基本技能を行うことができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備考	
第1回	レストランの基礎知識(1) レストランの組織	レストランでは、様々な役割を持つ人が適切に配置されて、指示・命令系統が明確になるよう組織化されている。各担当の業務内容を理解し、チームワークの大切さを学ぶ						
第2回	レストランの基礎知識(2) 接客の基本	身だしなみ、基本の姿勢と動作、接客用語等、接客するための基本を学ぶ						
第3回	レストランの基礎知識(3) 西洋料理の食器・備品	西洋料理で使用される食器類(銀器類・陶磁器類・グラス類)の取り扱いと管理、カトラリーやリネンなどを学ぶ						
第4回	レストランの基礎知識(4) 西洋料理の食器・備品	フルコースの流れとナイフフォークの並べ方、ナフキンの様々な折り方を学ぶ						
第5回	レストランの基礎知識(4) 西洋料理の食器・備品	フルコースの流れとナイフフォークの並べ方、ナフキンの様々な折り方を学ぶ						
第6回	レストランの基礎知識(5)	和食、中華などのサービス内容について学ぶ						
第7回	レストランサービスの立ち居振る舞い	サービスをする姿だけでなく、お客様のお席までのご案内やお客様への気遣い、気の利いたマナーを覚える						
第8回	レストランサービスの基本(1) 食前酒・前菜	食前酒の種類、カクテルの基礎知識、前菜の基礎知識とカービングについて学ぶ						
第9回	レストランの基礎知識(6)	食品衛生や公衆衛生についてについて学ぶ						
第10回	総復習	(1)～(6)の基礎知識、サービスの基本について総復習を行い実習に備える						
第11回	課外実習(報告レポート提出)	レストランサービスの基本を現場のサービスマンから実際に指導を受ける						
第12回								
第13回	レストランサービス実習	リアルウェディングや模擬披露宴を想定し、学生や職員に対してレストランサービスを行う(準備練習編)						
第14回	レストランサービス実習	リアルウェディングや模擬披露宴を想定し、学生や職員に対してレストランサービスを行う(実践編)						
第15回	レストランサービスまとめ	課外実習レポートの発表及び実習で得たことなどを共有する						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート	◎	◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			◎	○	○		10	C(1):60点以上
発表・作品			◎		◎		評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	フラワーコーディネートⅡ		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	結婚式や披露宴の、装花によるコーディネートを学ぶ。1年時に学習したフラワーアレンジの技術や知識をベースに、模擬披露宴などを通してお客様のニーズに合わせたブーケや会場装飾の提案を学ぶ実践的授業。							
授業の一般目標	シーンやドレスに合ったブーケの提案ができる。イメージに合わせたテーブル装花の提案ができ実践的な場所にて生かしていく。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	前期で習得した、基礎知識を応用する事ができる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	実践的授業にて、会場装飾を決定しドレスにあったブーケをデザインする事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ゲストハウスやホテル等のディスプレイや装飾を研究し、授業以外でも主体的に学ぶ事ができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	他の学生と協力し、話し合いながらお客様が求める装飾、ブーケを提案できるようになる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	模擬披露宴などの実践授業で、会場とブーケのコーディネイトを作成できる。							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	卓上装花 (テーブル花① ラウンド)	花の種類・花の水揚げ方法・材料・用具の種類・卓上装花制作実習						
第2回	卓上装花 (テーブル花② ホリゾンタル)	テーブル花の種類・卓上装花の制作実習						
第3回	高砂装花	高砂席の飾り方						
第4回	高砂装花	高砂席の飾り方						
第5回	ヘアオーナメント	ヘアオーナメントの種類・花選び・ワイヤリング・テーピングの手法・ヘアオーナメントの制作実習						
第6回	ケーキ花 (180度のデザイン)	ウェディングに必要な装花を学ぶ・ケーキと一体感のあるフラワーアレンジメント実習						
第7回	マイク・受付・リボンワーク	リボンの作り方、						
第8回	ブーケ	ブーケの種類・スタイル・制作方法・ブーケの制作実習						
第9回	ブーケ	ブーケの製作						
第10回	会場装花応用	会場装飾の全てを製作。3パターンの違ったアレンジをつくる。						
第11回	会場装花応用	会場装飾の全てを製作。3パターンの違ったアレンジをつくる。						
第12回	会場装花応用	会場装飾の全てを製作。3パターンの違ったアレンジをつくる。						
第13回	会場装花応用	会場装飾の全てを製作。3パターンの違ったアレンジをつくる。						
第14回	会場装花応用	会場装飾の全てを製作。3パターンの違ったアレンジをつくる。						
第15回	期末試験	期末						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				20	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品		○	○				10	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員				実務経験紹介				

2020年度 シラバス

科目名	ブライダルプランニング演習		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年次	開設期			
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	グッドウェディングアワードエントリー及び視察・東京の婚礼会場視察							
授業の一般目標	グッドウェディングアワードを視察する事で、本物のプランナーの実務を知り、今後の成長に繋げる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	グッドウェディングアワードについて説明が出来る							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	結婚式や披露宴においてプランナーとして必要な対応や準備手順がわかる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	視察の経験からブライダルプランナーに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	ガイダンス	授業概要説明・グッドウェディングアワードとは						
第2回	エントリーシートの作成	リアルウェディングを振り返りエントリーシートを書く						
第3回	エントリーシートの作成	リアルウェディングを振り返りエントリーシートを書く						
第4回	エントリーシートの作成	エントリーシート内容の全体共有と完成・代表学生の決定						
第5回	東京視察概要説明	研修スケジュールの説明、視察見学会場研究						
第6回	グッドウェディングアワード及び 東京の婚礼会場視察	あらゆるブライダル企業が集まる会場となる為、集団行動と身だしなみ、挨拶は徹底し行動をする。  上位8名に選ばれた場合は代表者だけでなく、全員で応援する気持ちに対応する。  婚礼会場視察では現場で実際に業務に携わるスタッフの対応力をしっかり学ぶ。				1泊2日研修 レポート提出		
第7回								
第8回								
第9回								
第10回								
第11回								
第12回								
第13回								
第14回								
第15回								
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 研修内容に関するレポート提出、準備姿勢、研修に取り組む姿勢に、出席点を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀 (S):100点~90点
小テスト								優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート	◎		○	◎			40	良 (B):79点~70点
授業態度			○	◎			15	可 (D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可 (E):59点以下
演習	◎	○	◎				45	
出席			○					欠格条件
担当教員	実務経験紹介							

科目名	イラストデッサン		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	鉛筆の削り方・持ち方・描き方・構図などのデッサンの基本を習得し、人の顔やスタイルなどスケッチ的なスタイル画へ発展させる。イラストやデザインなど表現・提案するための基礎を学ぶ。							
授業の一般目標	イメージを可視化し提案する基礎技術を習得する。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ブライダルに必要なイラストデッサン力に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダルイラストデッサンについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	イラスト基礎	イラストの基本と使用する道具						
第2回	人物を描く	男性						
第3回	人物を描く	女性						
第4回	ドレスを描く	ウエディングドレス						
第5回	ドレスを描く	カラードレス						
第6回	タキシードを描く	タキシード、フロックコートなど						
第7回	タキシードを描く	ベスト、靴、蝶ネクタイなど						
第8回	花を描く	1輪の花						
第9回	花を描く	花束						
第10回	花を描く	ブーケ						
第11回	テーブルレイアウト平面	平面のテーブルプラン						
第12回	テーブルレイアウト平面	立体のテーブルプラン						
第13回	会場のイメージ画	会場のイメージ						
第14回	会場のイメージ画	全体のイメージ画						
第15回	期末試験	期末試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	マナープロトコール		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	美しい所作を身に付けると同時にお客様へのおもてなしを体現できる人間になる。							
授業の一般目標	立ち方・座り方・食事のマナーを知る。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション 主語と述語を近づける、相手を敬う表現を正しく使う	本科目の学習目標を知る 明快で尊敬語・謙譲語・丁寧語を正しく使用した文章を作成する						
第2回	修飾・被修飾関係をはっきりさせる・適切な指示代名詞を使う	情景や細やかな心情を表現するために必要な修飾語表現を学ぶ						
第3回	効果的に接続詞を使う・語尾を統一する	適切に接続詞を入れることで、文と文をつないで、文章を整理し読みやすくする						
第4回	一文を短くする・一文には1つの事柄だけを入れる	要領を得た、わかりやすい文章にするために、短い文章を作成する						
第5回	助詞「の」の連続使用は2回までにする・二重否定を避ける	単調な、またあいまいな印象を与える言葉の重複使用を避ける						
第6回	事実と推測を区別する	事実と推測を区別することで読み手の誤解を防ぐ						
第7回	理解しやすい構成にする	読み手が即座に全体像を把握できる構成にする						
第8回	国際プロトコールの基本	国際化社会において必要とされる、外交上のマナーやしきたりを学ぶ						
第9回	食事のマナー	各国料理のテーブルマナーについて学ぶ						
第10回	冠婚葬祭と贈答のマナー	日本の、特に葬しきたりと贈り物・お返しのルールを学ぶ						
第11回	社会人に必要なマナー振り返り	他科目で修得した社会人として必要なマナーについて、マナー・プロトコール検定試験前に振り返る						
第12回	論理的な文書をつくる(1) 企画書	簡潔でわかりやすいビジネスEメールを書くコツを学ぶ						
第13回	論理的な文書をつくる(2) メール文	簡潔でわかりやすいビジネスEメールを書くコツを学ぶ						
第14回	論理的な文書をつくる(3) 議事録	情報共有を目的とした議事録において必要な要素を学ぶ						
第15回	まとめ							
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	プレゼンテーション・ディベート学Ⅱ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	プレゼンテーションを行なうために必要な基本的な事柄を学ぶ。プレゼンテーションの意義・目的、内容、進め方、ツールの活用など、基礎を学ぶと同時に、話し方などの口頭表現、身体表現を中心とした演習を行なう。							
授業の一般目標	プレゼンテーション能力の養成・向上を目指して、基本的な知識を修得し、さまざまな場面で自分の考えをしっかりと相手に伝える積極的な意思表示ができるようになる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	プレゼンテーションに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でプレゼンテーションについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	プレゼンテーションとは	プレゼンテーションの種類と定義について						
第2回	コミュニケーションとプレゼンテーション	1年後期の振り返り						
第3回	発表したプレゼンのフィードバック	1年後期の授業で発表したプレゼンのフィードバック						
第4回	発表したプレゼンのフィードバック	1年後期の授業で発表したプレゼンのフィードバック						
第5回	再構築したプレゼン作成	フィードバックから、再度構築し、シナリオ作り						
第6回	課題のプレゼンを行う	再構築したプレゼン発表を						
第7回	課題のプレゼンを行う	再構築したプレゼン発表を						
第8回	ディベートとは?	ディベートの考え方、定義						
第9回	ディベートの方法	議論の設定、持論の整理						
第10回	知的基礎体力をつける	知識の収集方法、考え方や話し方						
第11回	ディベート力を生かす	どのような場面で生かせるのか						
第12回	ディベート実習	「今後日本の結婚式は無くなっていく」						
第13回	ディベート実習	「今後日本の結婚式は無くなっていく」						
第14回	ディベート実習	「日本は救急車を有料化するべきである」						
第15回	ディベート実習	「日本は救急車を有料化するべきである」						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	セールスプロモーション			単位数	1	科目コード		
授業形態	講義			対象学生	2年次	開設期	半期	
区分	必修			開設時期		教員実務経験対象		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	プランナーにおける新規接客からクロージングまでの流れを知る。数組のカップルを想定し接客ロープレを実施する							
授業の一般目標	プランナーにおける新規接客からクロージングまでの流れを知り、ヒアリング・カンセリング能力の向上を図る。 また、規約内容を理解し、職業観も身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	セールスに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でセールスについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	ガイダンス	授業概要説明・新規接客に必要なこと・感じの良い挨拶、マナー、名刺の渡し方						
第2回	婚礼ヒアリングシートの内容	カップルの情報をつかむヒアリングシートの見方						
第3回	婚礼成約申し込み書と規約の内容	正式申込書の内容と、規約の内容を知る						
第4回	ウエディング打合せと当日のスケジュール	招待状から当日までの打ち合わせの流れの把握、当日の流れの把握						
第5回	婚礼セールスの基本	新規接客の順序 アイスブレイクとは					小テスト実施	
第6回	婚礼セールスの基本	ヒアリングとは						
第7回	婚礼セールスの基本	自社の会場や式場の魅力を伝える						
第8回	婚礼セールスの基本	自社の会場や式場の魅力を伝える						
第9回	婚礼セールスの基本	クロージングとは						
第10回	正式申込書の書き方	署名と規約の関係						
第11回	新規接客ロープレ (準備編)	ヒアリングからショールームまでの流れを作る						
第12回	新規接客ロープレ (準備編)	ヒアリングからショールームまでの流れを作る						
第13回	新規接客ロープレ	新郎新婦を想定した新規ロールプレイの実施						
第14回	新規接客ロープレ	新郎新婦を想定した新規ロールプレイの実施						
第15回	まとめ	振り返り						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				25	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	○			10	B(2):70点以上
授業態度		◎	○				15	C(1):60点以上
発表・作品	◎	○	○				50	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	喜多村 公美			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/</a>			

2020年度 シラバス

科目名	ビジネスマネジメント			単位数		科目コード		
授業形態	講義			対象学生		開設期		
区分	必修			開設時期		教員実務経験対象		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	管理職(マネジャー)は、企業と社員の結節点として、“経営ビジョンの浸透”や“事業戦略の策定・遂行”、“チームのモチベーションの向上”、“人材育成”などの多様かつ重要な役割を担っています。まさに企業の浮沈の鍵を握る要の存在です。この授業ではマネジメント知識を学び社会人基礎力を高めます。							
授業の一般目標	ビジネスマネジメント検定取得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	管理職として直面する事項に関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でマネジメントについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	マネージャーの役割と心構え	マネージャーが直面するビジネス環境						
第2回	マネージャーの役割と心構え	マネージャーに求められるミッションと5つの役割						
第3回	マネージャーの役割と心構え	マネージャーの資質						
第4回	マネージャーの役割と心構え	マネージャーの心得						
第5回	人と組織のマネジメント	マネージャー自身のマネジメント						
第6回	人と組織のマネジメント	コミュニケーションの重要性						
第7回	人と組織のマネジメント	部下のマネジメント 上司・外部とのコミュニケーション						
第8回	人と組織のマネジメント	人財育成と人事考課 チームのマネジメントと企業組織論						
第9回	業務のマネジメント	経営計画 事業計画の策定						
第10回	業務のマネジメント	マネージャーに求められる業務のマネジメント						
第11回	業務のマネジメント	成果の検証と問題発見及びその解決 経営にかかわる基礎知識						
第12回	リスクのマネジメント	リスクマネジメントの考え方とその実践						
第13回	リスクのマネジメント	職場・業務にかかわるリスクマネジメント						
第14回	リスクのマネジメント	組織にかかわるリスクマネジメント 事故災害時にかかわるリスクマネジメント						
第15回	期末試験の実施	期末試験実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○						秀 (S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎					優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎				良 (B):79点~70点
授業態度			○					可 (D):69点~60点
発表・作品								不可(E):59点以下
演習								
出席			○					
担当教員				実務経験紹介				



2020年度 シラバス

科目名	ビジネス英語応用		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ビジネス英語基礎で学んだ知識を応用し、ブライダルの新規接客や挙式当日によく交わされる会話を英語でもチャレンジできるようになる。							
授業の一般目標	海外の参列者や新郎新婦に対しても英語での基礎会話を交わす事ができる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	ブライダル業界用語やフレーズの英語を覚え、使用する事ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	覚えた英単語を使って接客の会話を考えたり、作ったりする事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ブライダル業界用語の英語に関する関心を広げ、自ら進んで話してみる事ができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダルの英会話について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	英語でのご案内やセールスを行えるようになる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	授業概要の説明						
第2回	接客英会話の復習	出会いの挨拶・別れの挨拶・ご案内・お礼など基本を復習						
第3回	婚礼用語①	ブライダルで使用される言葉の英語を学ぶ:衣装・美容・お花						
第4回	婚礼用語②	ブライダルで使用される言葉の英語を学ぶ:宴会場、挙式、各種商品						
第5回	ヒアリングの会話①	新規のアンケートヒアリングフレーズを作ってみる				確認テスト		
第6回	ヒアリングの会話②	ヒアリングの会話を実践してみる						
第7回	海外のお客様へのご案内①	ドレスをお勧めするフレーズを作ってみる						
第8回	海外のお客様へのご案内②	英語でのドレス案内接客の会話を行ってみる						
第9回	海外のお客様へのご案内③	チャペルや会場の説明フレーズを作ってみる				確認テスト		
第10回	海外のお客様へのご案内④	英語で会場案内の基礎を行う						
第11回	海外のお客様へのご案内⑤	結婚式当日、海外からのお客様に対するご案内フレーズを考える						
第12回	スピーチ作成	婚礼のお勧め商品のご案内文を作成する						
第13回	スピーチ発表	婚礼のお勧め商品のご案内スピーチを行う						
第14回	総復習	婚礼用語やフレーズの総復習を行う						
第15回	期末テスト							
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					40	秀 (S):100点~90点
小テスト	○		○				20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート			○	○			10	良 (B):79点~70点
授業態度		◎	○				10	可 (D):69点~60点
発表・作品	◎	○	◎	○	○		20	不可 (E):59点以下
演習								
出席			○					
担当教員	実務経験紹介							

2020年度 シラバス

科目名	ホスピタリティマインドコミュニケーション		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義	対象学生	2年次	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	今、我が国では広く社会全体で”心の教育”への注目度が高まっています。また、多くの企業や組織では、相手の立場に立って、心から相手のことを考えて行動する「ホスピタリティ」を、CS(顧客満足)の向上に役立てようとする取り組みがなされています。この授業では相手の立場に立ったコミュニケーションや気遣い、共創やそのための職場環境、顧客満足などを学びます。							
授業の一般目標	ホスピタリティのTPOと5W1Hを理解し人間行動に結び付ける。各テーマに沿った小論文を作成する事ができる							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ホスピタリティに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でホスピタリティについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)	基本的な知識を修得し応用実践に発展する。							
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	ホスピタリティ・マインドとは	マインドと♡ ホスピタリティとサービス 最低限のホスピタリティ実践項目						
第2回	ホスピタリティ・マインドとは・マインドと人間行動の特質	6種類の心 三種類の力 必要とされる協動的・行動的な特質						
第3回	ホスピタリティ・マインドが生きるTPOと5W1H	時 場所 場面 誰が 何を いつ どこで どうして どんなふう						
第4回	ホスピタリティ・マインドが生きるTPOと5W1H	時 場所 場面 誰が 何を いつ どこで どうして どんなふう						
第5回	ホスピタリティ・マインドを個人として生かすには	ホスピタリティ・コミュニケーションとは						
第6回	ホスピタリティ・マインドを個人として生かすには	ホスピタリティと「言葉」						
第7回	ホスピタリティ・マインドを個人として生かすには	コミュニケーション上手になる秘訣						
第8回	ホスピタリティ・マインドを組織として生かすには	社会貢献的マインド ホテル、一般企業や団体でのマインド						
第9回	ホスピタリティ・マインドを組織として生かすには	CS コンプライアンス クレドとマニュアル 公共機関とホスピタリティ						
第10回	お金とホスピタリティ・マインド	チップ制とサービス料制						
第11回	異業種間で生かされるホスピタリティ・マインド	お客様相談室の機能						
第12回	国境を越えて生かせるホスピタリティ・マインド	世界各地の特色あるホスピタリティ 経済観念とホスピタリティマインド						
第13回	国境を越えて生かせるホスピタリティ・マインド	日本文化とホスピタリティ						
第14回	これからのホスピタリティ	マニュアルプラスのホスピタリティ 教育現場からホスピタリティを展望すると						
第15回	期末試験の実施	期末試験の実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員					実務経験紹介			

科目名	ネイル基礎		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ネイル基礎知識・ネイルケア・カラーリング・検定アート 検定3級対策							
授業の一般目標	ベーシックなネイルの技能と知識の基礎を習得 JNECネイリスト技能検定3級受験							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	JNAテクニカルシステム(ベーシック)							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ネイル基礎に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でネイルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	初回授業説明 理論	教材配布・検品・テーブルセッティング ネイル概論						
第2週	ネイルケア基礎	消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論						
第3週	ネイルケア基礎	消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論						
第4週	ネイルケア基礎	消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論						
第5週	ネイルケア基礎	ネイルケア・カラーリング・カラーオフ ネイル概論						
第6週	ネイルケア基礎	ネイルケア・カラーリング・カラーオフ 小テスト						
第7週	ネイルケア基礎	ネイルアート						
第8週	ネイルケア基礎	ネイルケア・カラーリング・カラーオフ ネイル概論						
第9週	ネイルケア基礎	ネイルアート						
第10週	検定対策	3級対策						
第11週	検定対策	3級対策						
第12週	ネイルアート	ネイルアート						
第13週								
第14週								
第15週								
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	ブライダルアロマ		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダルに重要な場の空気・雰囲気をつかみ印象付ける事ができる。							
授業の一般目標	アロマの香りと効果を体系的に理解し、活用できる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	アロマに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でアロマについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	ガイダンス	ブライダルにおけるアロマの効用						
第2回	ブライダルアロマの歴史	歴史とその背景						
第3回	ブライダルアロマの基礎知識	取り扱い、保存方法 使用注意						
第4回	アロマが人に与える影響とその扱い	影響を知り、アロマの特性を知る						
第5回	アロマの効用について	ローズマリー、ミントなど						
第6回	アロマの効用について	イランイラン、ジャスミンなど						
第7回	アロマの効用について	ローズ、タイムなど						
第8回	アロマの効用について	ラベンダー、グレープフルーツなど						
第9回	アロマとブライダルサロン	サロンでのアロマの効用、使い方						
第10回	アロマとブライダルサロン	香りが与えるお客様への影響を知り、成約を伸ばす						
第11回	アロマとブライズルーム	当日の花嫁をサポートするアロマとは						
第12回	アロマとブライズルーム	当日の花嫁をサポートするアロマとは						
第13回	アロマとマレージブルー	ウエディングの心配を紛らわせるアロマ						
第14回	アロマ まとめ	まとめ						
第15回	アロマ期末試験	期末試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	杉山 美帆子			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/sugiyama/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/sugiyama/</a>			

## 2020 ブライダル科 シラバス

発行 YIC京都ビューティ専門学校

発行日 2020年 4月 1日

編集 学校法人京都中央学院

〒600-8236 京都市下京区油小路通塩小路下る西油小路町 27 番地

TEL 075-371-4044 FAX 075-343-3821

本便覧の複写および無断転載を禁ずる。